

平成 23 年度 弘前市市民評価アンケート
『子ども達の笑顔あふれる弘前づくりのためのアンケート』

集計結果報告書
〔自由意見・属性別集計表〕

平成 23 年 8 月

弘 前 市

目 次

① 自由意見

市政全般

〔市政全般〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

〔計画・アクションプラン〕・・・・・・・・・・・・ 4

約束1 市民主権システムを実現します

〔市民・協働〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

〔広聴〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

〔広報〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

約束2-（1） ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【農業振興】

〔農林業〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

約束2-（2） ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【観光振興】

〔観光〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

〔築城400年祭〕・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

約束2-（3） ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【商工業振興】

〔商工業〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

〔雇用〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

約束3 魅力あるまちづくりを進めます

〔安全・安心〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

〔防災〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

〔雪国生活〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

〔道路整備〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

〔河川整備〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

〔公共交通〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

〔生活環境〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

〔エネルギー〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

〔景観〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

〔公園〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

〔上水道〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

約束4-（1） 子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】

〔子育て環境〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

〔放課後対策〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

〔健全育成〕	4 0
約束 4 - (2) 子育てするなら弘前で、を目指します【人づくり】	
〔教育・学力〕	4 1
〔大学〕	4 1
〔生涯学習〕	4 2
〔文化振興〕	4 3
〔スポーツ・レクリエーション〕	4 4
〔国内外交流〕	4 5
約束 5 命と暮らしを守ります	
〔社会福祉〕	4 5
〔保健医療〕	4 7
約束 6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります	
〔広域行政〕	4 8
〔合併効果〕	4 9
約束 7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます	
〔行政運営〕	4 9
その他	
〔税金等の負担〕	5 5
〔被災地支援〕	5 5
〔議会〕	5 6
〔その他〕	5 7

② 属性別集計表

I 回収結果	5 9
II 回答者構成	5 9
【I アクションプランに掲げている各約束に関する施策について】	6 1
【II 市政への総合的な評価について】	1 1 9
【III その他個別の施策について】	1 2 4

<資料>

平成 23 年度市民評価アンケート調査表	1 3 6
----------------------	-------

【ご利用にあたって】

本書は、平成23年5月に実施した「平成23年度弘前市市民評価アンケート」の自由意見及び属性別集計表をまとめたものです。

平成23年度弘前市市民評価アンケートの集計結果は、「平成23年度弘前市市民評価アンケート集計結果報告書」及び「平成23年度弘前市市民評価アンケート集計結果報告書〔自由意見・属性別集計表〕」として公表するものです。

このアンケートにおいて自由意見欄に記述があった人は2,130人中799人で、37.5%でした。また、複数の内容の意見等を記載した人もいたことから、項目整理総数としては1,381件でした。

本書では、このうち主な意見を抽出し、「市政全般」、「アクションプラン各約束」、「その他」に分類し、趣旨を損なわない範囲で修文等の整理をして掲載しています。

また、属性別集計表の結果数値(%)は、小数第2位を四捨五入して、小数第1位まで表示しています。

1 自由意見

市政全般

〔市政全般〕

- 今年度は400年祭事業があり、市政そのものに活気が見られたように思う。前例にない事に予算を組み、挑むことの難しさは結果が必ずしも◎とは限らない事にあると思うが、恐れずに新しい施策を行なわなくては存続が厳しい時代に入ったと思う。
- 多く良い事業を行なっているのに市民の認知度の低い事には、PRの仕方を検討していただきたい。年寄りは大切にされるべき存在。観光の町弘前は、年寄りにもやさしい町となる事を祈っている。
- 今年度、築城400年祭で、もりだくさんの計画を実行されているので担当者の方々に感謝をしている。弘前公園も整備され、定期的に濠の周辺の草も刈り取られ、冬には除雪の回数も多くなったと思われる。適度に自然と関わりを持てるように、いきすぎのないようお願いをしたい。私は他の市や県にも住んだことがあるが、弘前が一番大好きである。これからも、子供も老人も住みやすい共同社会の育成をお願いする。
- 弘前公園、岩木山、寺院など、弘前をもっともっとアピールしてほしい。とともに、ショッピングを楽しめる町、おしゃれなまちづくりのためにもっと努力してほしい。駅前、ダイエー、イトーヨーカドー周辺の活性化。土手町をどうするか。前向きによりよい魅力ある弘前のために努力してほしい。
- 他県から仕事の関係で弘前市に単身で暮らしている。弘前は住みやすいし、市の職員の方の対応も素晴らしいと思う。ただ、弘前市は新幹線が通っていないせいか、青森市や八戸市などの陰に隠れてしまう危険が出てくる可能性もあるかと思うので、PR活動は引き続き続けていくべきだと思う。特に、今回の震災では他の被災地へ積極的に支援を行うなど、弘前市の役割は大きいと思う。
- 弘前市はとても良い市だと思う。特にこれからは各自治体が特色のある町づくりを進めなければいけないと思う。◎桜は日本一（世界一）。これを前面に出す。あれこれPRしない。（りんごは誰でもわかる）◎岩木山（津軽富士）をもっとPRする。◎青森県の弘前市ではなく、日本の弘前市を目指す。（青森県はあまり出さない方が良い）◎出来るかどうかかわからないが、弘前ナンバーの取得を目指す。（車）◎その他色々日

本一を誇れるものは堂々とPRする。

- 現在の各々の事業、振興策、対策の必要性を絶えず精査しつつ、30年後、50年後、100年後の弘前で暮らす人たちのための町づくりに着手すべきである。現代の人々には何の恩恵も与えないが、しかし歴史が判断を下す、壮大な町づくりに取り組む部署を立ち上げるべきだと考える。
- 震災後、消費生活を取り戻し、いつもの日常に戻ることを良しとするのではなく、今までの仕組みや価値とは全く異なる新たな未知の創造が成されない限り、日本は良くなれないと思う。経済中心の考え方を変えてほしい。
- 地域づくり活性化のため、①町会連合会の「地域づくり研修」と「青少年の健全育成、少子化対策」への研究。実践。②社会教育協議会への支援。③社会教育主事の育成が極めて大事。
- 市政に限らず弘前は閉鎖的である。他地域や他県とも交流を深め、人・モノ・情報の出入りを増やすことによって、市全体の活性化を図るべき。民間から人材を採る、業務を民間に委託するなどして、官民の隔てをなくしてほしい。インフラの悪さは今後も変わることはないため、ITの活用でカバーすればよいのでは。
- 税金の無駄遣いにならないようにしてほしい。花火大会のように町全体がもり上がり活性化するものと考えてほしい。もう少しPRして浸透させた方がよい。何が行なわれているかとてもわかりづらい。もっとニーズに合わせてほしい。
- はっきりいって弘前の街は死んでいる。自殺者の数も秋田に次いでワースト2。所得も沖縄に次いでワースト2。寿命についてはワースト1である。ほとんどの事については全国最下位である。弘前の街には何も楽しむ所がない。もっともっと市民の声を聞くこと。小さな子供から大人まで、何でも良いから楽しめる所を作っていただきたい。
- 要望として、小学生以下の医療費無料化、給食費の無料化、福祉の充実化、農業の社会化（公務員化でもいいが）、弘前大学へ小中学生を行かせて講義を受ける。親への教育を導入。
- 今年は震災もあり経済、雇用といろいろな面で大変な年になっているが、ぜひ無駄をなくし、福祉の充実と子供たちが安心して暮らせる住み良い弘前市を望んでいる。

- 長期的に文化観光都市標榜する弘前市にあって、弘前地区の衰退を看過してはならないと思う。弘前市の顔・玄関である駅前商業施設の再生は喫緊の課題ではないかと思料する。市庁舎の駅前商業施設の移転は大きな経済効果を生むとともに、弘前市の入り口・玄関で多くの市職員が働くことというのは衰退に対する危機感を醸成し、今まで以上に市民の先頭に立ってこの街をよりよき街にしようという意識が芽生えたと信じている。
- 市民の意識が低い。(青森市、八戸市と比べて)津軽の中核都市としては無理、人口が増えただけ。モラルが薄い。青森県の3市の一つとは言えない。これは老若男女問わず。市民が我が市を向上したいという高揚感が低い。
- 市内閑散。市街地にぎわい。しかしショッピングセンター関係の施設のみ。弘前市は近隣市町村に比べてかなり遅れている。旧3市のプライドなし。活力、元気、団結、豊かさなし。将来への展望なし。ここに50年以上暮らす、全くの田舎町だ。弘前市民として誇り持てない。
- 市立病院をもっと有効に利用してほしい。子供たちが安全に暮らせるようにしてほしい。春だけでなく、秋・冬も観光産業の充実を目指して欲しい。
- 昨年北海道から引っ越してきて一番思った事が、道路がせまい所がたくさんある事。大学生など、自転車が多いのに新しい住宅地以外はあまり整備されていないように感じる。あと、大型スーパーがイトーヨーカドーしかないのが残念。五所川原のような、ジャスコなどもう一つ大型スーパーがほしい。
- 動物福祉に関して積極的な施策を具体化し、実行して欲しい。育成に道徳的発展は不可欠であると考え。ひいては、児童福祉、高齢者福祉、障害児者福祉も発展していくと思う。福祉を充実させれば人口は増える。観光にこだわるより、安定した雇用にもつながると考える。弘前市はもっと良くなる地域だと思うので期待している。
- 核家族により災害が多くなっている。これから地域の重要性、3世代家族をすすめ、それに合わせたフォロー活動もしてゆき、一斉運動をしたらどうか。
- 人口を増やす事、子供をたくさん産める環境をつくる。若い人が集まる施設と雇用しやすい状況をつくって欲しい。雇用の規定が高過ぎる。

- 一人一人の意識改革が無ければ、住み良い町づくりは難しいと思う。お互いが思いやり、相手の事を大切にする市政を望む。
- 市民の健康を守る事。60歳以上の人より、若い人に仕事を与える。そうすれば、若い人は結婚も出来る子供も産める。子供の教育に金をかけて欲しい。
- 市長の様々な施策、実行については一定の評価をしているが、まだ時間的なこともあり結果につながっていないと思う。さらに強かに押し進めていただきたい、プラス行政のムダ、議会のムダについて強くアクションを希望している。
- さくらまつりの開催を早く決定した市長はすごいと思う。震災後、自粛モードになり自営の人達（飲食）は本当に大変であった。それに伴い、パートの人達も休みや解雇を強いられ、弘前は経済面で大丈夫かと不安に過ごしていた。東京では花見の自粛を決定した中、堂々とさくらまつりを開催してくれたおかげで、被災者だけでなく地元の人も元気になったと思う。
- 現市長に代わってから、さまざまな面で良い提案がされているが、もっとスピードアップと効率化を期待します。
- 他の人には評価されているのかもしれないが、現市長は公約として駅前活性化みたいなことを言われていたが、その公約は果たされたのか。駅前が活気に満ち溢れるのが一番評価されるのではないか。生意気な意見かもしれないが、皆の意見に耳を傾けていただきたい。
- 市長は市の顔です。マスコミ等で「さくらまつり」「ねぷた」だけでなく、市の営業マン等の模様をPRすべきだ。弘前がもっと「人が集まる」「人が他の地域に行かない」で生活できる町に、「産業雇用」を創出するよう頑張ってください。
- 葛西市長になると少しはよくなるかと思ったら、皆同じなのでがっかりしている。全然変わらない。

〔計画・アクションプラン〕

- 市長が公約に掲げた項目がたくさんあったようであるが、具体的な説明とその項目がわからないので、広報等に記載しその中で、これまでどれが実現したのか知りたい

し、今後の対応策も知りたい。

- 現市長就任以来、年数が経っていないのでその策定、アクションがまだ浸透していない感あり。一つ一つ誠意を感じ確認したら積み上げてください。やはり、市民の代表である議員は言うには及ばず、公僕である市職員の方々の意識改革が必要かと。
- 弘前初のマニフェスト型選挙で当選された葛西市長ですので、100のマニフェストをアクションプランにかえて市政するのは当然ではありますが、見直しが必要な時もあるかと思う。市民は、100の施策全てを信頼している訳でもないのに、公約達成を前面に出しすぎず肩の力を抜いて市政運営されることを望みます。
- アンケートが届いたが「弘前市アクションプラン2010」の存在も知らなかったし、いつ、どこに提示されていたのかも知らなかったため回答できません。まずはアクションプランをきちっと市民に伝える事が大事で、今回のアンケートはあまりにも唐突すぎる。
- アクションプランは毎年見直しをするものですか。前年を見直した実行するもの（施策）にしたらいかがですか。予算を使って毎年アンケートをする必要はないと思う。「アクションプラン」はホームページで公開中とのことでしたが、見つかりませんでした。
- 将来目指す姿、スマイル33プログラムのそれぞれの項目の進捗状況について、広報に載せてほしいと思う。プランは結果的ですが、何をどのレベルで実現したかによって評価が違ってきますから、ぜひお願いします。
- このようなアンケートは良いと思う。しかし、アクションプラン自体よく知らない。もっと、市民にやる内容を知ってもらう手立てが必要だと思う。やるからには結果を出し、信頼を得ることが大事だと思う。特に、未来ある若者や子供たちが将来、住みやすい弘前を作って欲しい。
- 各種計画などボリュームがありすぎて実行性に欠けているように思う。人と人をつなぐ役割を行政が行うことで活性化する部分もあると思う。
- 葛西市政期間にとらわれず、後世に続くようなビジョンを示す事と、近々のミッションを明確にしてほしい。
- このアクションプランについて詳しく知らなかったのですが、このアンケートを機

に数人の方に話をしたら「何それ？」ということでした。市の広報などでお知らせがあったとしても、一般の方はあまり関心がないのではないのでしょうか。これからはもう少し関心を持たなければ、私達の生活環境はよくなないと反省しました。

- 子供たちの笑顔あふれる弘前にするためには、我々大人たちが笑顔で仕事をしてたりすると、子供たちは勝手に笑顔で生きようになります。どんな状況になろうとも、「オレは絶対笑顔でいるんだ」という気合が大事なんだと思う。

約束1 市民主権システムを実現します

〔市民・協働〕

- 町会の力、地域力が落ちてしまった。どうしますか。このまま？
- 市民にとって一番身近な組織である「町会」の活発な活動が望まれる。近年、町会役員になる人材が少ないことから、町会長を初めとする役員の横暴さが目立つ。町会役員及び町会民を対象とした地域での触れ合いの重要性についての研修の場が必要と思われる。
- 市政は市民にとって近い存在であって欲しい。職場内の業務だけでなく、市民の日頃の生活状態を把握することで何が必要であるかわかると思う。同じ市民として同じ目線で考えていただきたい。職場や立場はみな違うけど、同じ人間には変わりありません。一人一人が周りの人の事を思いやれる弘前市を望みます。
- 弘前市民の意識改革。残念ながら、市内に居住しながら市民の一員になりきっていない方が多々あります。例えば、町会への未加入、市が示すルールの不励行等。住み良い安全、安心の弘前市を願っています。
- 毎年春に清掃車が来ていますが、各町会、団体等ボランティアを活用したらと思っている。(街路樹の下の道路際の除草等も)
- 地域社会へ貢献したいと考えているが、どこへどうしたらよいか分からない。子供達の防犯や一人暮らし老人宅の設備の点検など私にも特技を持っているのだが、増健

というか健康維持のためにも高齢者をうまく活用する取り組みを考えてみてはどうか。

- 今後の高齢化、気候変動による農作物の変化、東日本大震災による影響など、弘前市の財政に影響を及ぼすものばかりです。自立した財源を安定して確保していくことに不安を覚えます。このような状態の中、ますます「協働」が重要になってくると思うが、丸投げや馴れ合いの協働が行なわれるのはできるだけ排除してください。
- 世の中、変わりました。昔は隣近所の付き合いが非常によかった。子どもたちも遠くの子どもまで年齢とか名前とか覚えたものです。よく遊んでくれました。今は隣の子どもさえわかりません。声をかけても返事もなし。そっぽを向いて知らん顔。情けなくなります。若い人たちも挨拶くらいはしてください。

〔広聴〕

- 出前講座について、派遣される講師は若手の市の担当職員であり、専門的な知識を有しているとはいえ、出席者が理解するには程遠い状況である。その項目に対するしっかりした経験、知識を有した職員を選ぶ等の方策を考えるべきである。
- 各地区ごとの市民との懇談会を、もっと多く開催していただきたい。
- アンケートを求められてもアクションプランについて知らないので答えるに困った。町内会にも入っていないので広報紙等まったく目にしない。前に住んでいた市は毎月家庭に配布されていた。
- 市長が変わってからまだ日数がそれほど経っていない。それに対して市長の市政の取り組みや評価については、まだ結果を聞くには早すぎるかなと思う。
- この内容だけでの評価は果たして妥当なのか。他市町村でも取り組んでいる問題でもあると思う。加えて、市民の生活に直結している租税公課等、財政面についても市民の声を聞く必要があるのではないか。結果等を市民に一方的に押し付けるのはどうか。
- アンケートの内容はいかにも行政らしい。質問をもう少し変えてほしかった。(角度を変えて) 市政に求めるばかりではなく、市民も意識を変えていかなければと思う。市民が変われば市政も変わる。市政が変われば社会も変わる。親が変われば子供も変

わる。これ以上自然を無視するような開発はいずれ自分達に返ってくることを忘れないでほしい。

- アクションプランを全く知りません。日頃広報等を見ているのですが申し訳ありません。ランダムにアンケートを実施するのはそちらの勝手ですが、この方法ではそちらの目的とする結果は得られないのではないのでしょうか。もう少し絞りこみの上、アンケート対象を選択した方がより参考資料となるのではないのでしょうか。
- アンケートに答えて、改めて市が企画する行事等に関わりが無いことに気がつきました。行事などの市民ボランティアを有給にすることで、雇用の創出、市民の関わりを増やしてはどうでしょうか。収入源は、本丸の有料化のように、有料に出来るところを考えると。
- このアンケートは市政のパフォーマンスでは無く、血税を使ってアンケートを取っているのだから、無駄にならないようぜひ市民のために活用していただきたい。
- 本アンケート自体に多くの時間と労力がかかる。アンケートが職員の職務とすれば、変である。行政は何より、足を運んで現状把握、課題への対策に対応すべきである。補助団体への市職OBの天下りがないか、若者の雇用促進の観点から規制すべき。
- 今回のアンケートで、いかに市政に関して無知であることを思い知らされました。ただひとつ言わせてもらえば、市を活性化させるための努力、今年限りではなく続けていただきたいと思う。自分も少しでも協力できる事はしたいと考えております。
- 若い人達にも興味のあるアンケートにしてほしい。結果、市の自己満足的なアンケートで終わり、成果なしと思われる。
- アンケート用紙により、市政の取り組みを知る事ができました。私はわからないことだらけでした。もう少し、一人一人が弘前市が住みやすい、そして不安のない町になるよう、心して参加させていただきます。
- 市民評価アンケートの実施については、大いに評価したいと思う。しかし、評価対象となるそれぞれの案件に関する情報を知り得ていないのが実情である。この取り組みを機に、よりオープンな市政を期待する。
- このアンケートに答えて、私自身が市のいろいろに興味を持たずに過ごしているか

が解りとても恥ずかしい思いです。もっと市民として意識的に行事、施策などを注視していきたい。

- 市民評価のアンケートは、今までになかった事で市長の意を感じた。これを良い方向になるようにしていただきたい。
- 市政または市の活性化に取り組む際に、もっと若者の意見やアイデア、センスを取り入れる必要があると思う。これが出来ないといつまでもダサイ弘前のままになってしまうと思う。
- 身近な子ども会、老人クラブ、そして町会組織、ともに危機。若い人たちの意見を取り入れ、元気にしてほしい。

〔広報〕

- 東日本大震災の時、市内のガソリンスタンドの情報がどこから得られるかなど、生活に直結している重要な事項に対して広報活動が不足している。
- 今回の震災の際の避難場所の状況や利用状況はどうだったか、情報をもっと公開していただきたい。
- 震災で停電になった時、情報はほとんどラジオからであり、中でもアップルウェブの地元密着の細かい情報には随分助けられ励まされた。学校や診察可能な病院案内の情報はなるべく早い時間帯に収集し、流すという決まりを作り、より多くの人が「情報はアップルウェブから」と周知徹底する事により混乱は避けられるのではないか。
- 市のホームページが見にくい。古い情報がトップにあったりして使いにくい。情報が分かりにくい。
- 震災後、市でもホームページで水道や農産物など放射線量を公表しているようだが、ホームページを見られない人のために広報で公表してほしい。ホームページを見られない人もいる。
- 他県の市のホームページでは、住民税や国保シミュレーションができるので、とても便利だ。

- 今回の震災では、ツイッターがとても役に立った。しかし、情報が正しいのかと思われるものもあり、アップルウェブとたか丸くんは信用できると思った。地元の情報が欲しいとき、アップルウェブは役に立つと思った。ラジオも聞き間違いや聞き漏らしもあるので、ツイッターで目で見て確認できるのはとても助かる。これからは学校情報などもツイッターで出してもらえると便利だ。
- 財政が厳しい折、広報ひろさきの紙質など上等すぎるのではないか。もっと安価にして少し質を落としても内容は伝わると思う。
- 弘前の広報を全世帯に配布するのは経費のムダ。何も見ないで捨てる人も多い。
- 広報ひろさき他イベントチラシ、ポスターの刷り部数の見直し。広報ひろさきは各家庭に配られている他、何か所かに置かれているが余って捨てられている数が多いのではないか。一度各場所の残数をチェックしてはどうか。
- 広報紙をコンビニ等のいつも利用する場所に置いてもらいたい。また、メディア弱者のために、ツイッターやホームページだけでなく紙媒体でも必ず伝えるようにしてほしい。
- 机上の考えよりも市民の声から引き上げた市政にして欲しい。前例にとらわれず弘前らしさを追求した行事など、広く内外に知らしめるような中身のあるものを打ち出してほしい。
- 市県民税を納めているのに広報が全然手に入らず、弘前のニュース、お知らせが全然わからない。広報くらい送ってほしい。
- 青森市や八戸市のように、テレビでも市政を広報する番組を持ってほしい。市長の存在感を示して、ワクワクできる弘前を前面に出してほしい。
- 広報は大人たちばかりの月刊誌であってはならない。これからの子ども達の育成にあってこそそのページが今一度ほしい。家族で話し合えるページも希望する。
- 市が行なっているイベントや行事など、後で知ったりすることがあるので、もう少しアピール方法を工夫していただきたい。広報ひろさき、ホームページなど以外で知る機会がほしい。

- アパート等の入居者は、全くといっていいほど市からの情報は入って来ず、自分で意識していないとわからない。アパートに住んでいても弘前市民なのだから、そういう人も含めて情報を発するともう少し参加型の市政になるのではないか。
- 東日本大震災の後、弘前市情報配信システムに登録したが、余震や停電のときに情報メールがあるものかと思ったが、配信があったのは積雪情報だけであった。それが一日に何回も配信があり、わずらわしいぐらいにメールが来たが、地震に対するメールは一度もなかった。「安心・安全・生活情報メール」は、どんなときに配信されるのかと不満である。
- 東日本大震災発生直後の停電時には、市の広報車や消防自動車等による情報提供が不可欠である。市当局者の考え方が、①市のホームページ、②FMアップルウェブ、③防災行政無線等の情報機器オンリーの情報提供で事足りりとする考え方では、これらと無縁の高齢者層の人達はどうすればよいのか。少子高齢化社会対策を事あるごとに説いているが、いざという時には弱者切捨てではないのか。改善策を強く望む。
- 非婚で子供もいない者としては、公共の福祉サービスを受ける機会もほとんど無く、市役所等へ行く事もほとんど無いので、市政の実態をあまり感じる機会がない。
- 弘前市のイベント、観光への情報が不足している。ホームページ等、弘前市外の人が見てもわかるように。
- アクションプラン？何のこと？広報でしか市の情報を得ることが出来ません。詳しくはホームページで云々。市民の何%がパソコンを持ってどの程度利用しているのかわかっているのか。高齢者世帯や母子家庭など、かなりの人数がいると思うが。
- 今回のアンケートでは「わからない」に非常に多くの丸をつけることとなってしまいました。これは市政が開かれたものではないという結果が出た物ではないでしょうか。市長はもっとテレビなどのメディアに積極的に出て市政をPRすべきだと思う。そうすることで、「私はこんなことをやって、このように結果を残しました。」と民間が理解できるのだと思う。三村県知事のようにメディアを活かして、市政を広める事から始めると、アンケートの内容もより深くなることと思われます。
- 原発の影響が県内でも高いのに、(毎日、青森市の放射性物質の値に10を足した値である) 水の調査や降下物の調査がないのが気になる。市独自に調査し、モニタリング

ポストの場所とともに公表してほしい。また農産物等についても調査し公表してほしい。（やっているのかもしれないが、ニュースでは他県の引っかけたものしか放送されないの）市内でつくられたものが安心だと分かれば、道の駅も栄えるし他へのアピールになる。

- FMアップルウェーブはすばらしい。
- ビバ弘前のような、市政にこだわらない情報誌を発行した方が良いと思う。市で利用できる施設の紹介（無料・有料(全額)）等を掲載した方が良いと思う。（衣・食・住情報、交通・車・電車・バス等）市政とは違うかもしれませんがぜひ検討を。身近な事で市政を考えてください。
- 行政サービスについての情報提供は町内の回覧等で知っていますが、実生活にプラスになっているかどうか、今回のアンケートの内容も全て重要な課題であると思っておりますが、前回（以前と比較して）と比べて改善されているかどうかは、はっきりと実感できていないのが現状です。情報の入手媒体が紙ベースなので、知識習得と一緒に知っているかどうか目的になってしまい、サービスを活用するところまでには至っていないように思う。各個人までの情報活用システム（インターネットを活用したり）を構築してはどうでしょうか。また、他の市町村ある例ですが、弘前市ではケーブルテレビの運営などはしないのでしょうか。
- 市民SNS（※ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を拡充する。住民同士のコンタクトが密接になるかもしれない。
- 借家、年金暮らし。市民の行事、レクリエーションなどアパート借家暮らしの人には20~30年全然連絡、通達がない。平等な市民で暮らしたい。

約束2-(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【農業振興】

〔農林業〕

- 観光とりんごをもっと活かしてほしい。建設業だけ力を入れているように見える。

- りんご園などに置く簡易トイレの補助金を考えていただきたい。
- りんごのまちならではのりんごフェスティバル。毎月5日のりんごを食べる日も良いが、1年で一番りんごの美味しい季節に街中でりんごやりんご料理、おかし、シールドなどを飲むイベント。種類によってふじウィーク、王林ウィーク、ジョナウィーク等があっても。
- りんごを食べる日をただ制定しているだけでは宣伝にはならない。集団給食施設にりんごまたはりんご加工品を無料で提供してはどうか。
- 米・りんご中心の農産物の加工品事業を開発・拡大して仕事場の安定、生活の安定を図っていただきたい。
- 原発事故の風評被害は他人事ではないと思うが、特に輸りんごなどどういった対策をとるのか。
- りんごの消費拡大と、さまざまな原料として使えるジュース以外の新しい加工所とかあればいいと思う。
- 今年、りんご公園で観光客1万1千人以上の来客があり、さらにお一人様に「100円券」を発行し、公園の中だけでの使用だったので売り上げも少し伸び、とても良いアイデアだと思った。来年もぜひお願いしたい。
- りんご花まつりに行こうと思いネットで調べたが時間が分からず、問い合わせ先に電話したら何も分からない人が対応していた。問い合わせ先なのだから、ある程度答えられるようにしてほしい。
- 7、8年前に施策としてりんご公園の整備等が行なわれたが、日本一の産地と言われる弘前にふさわしい内容となったのだろうか。
- 岩木山麓の地に畜産の出来る所があるので活用してはどうか。
- 戸別補償制度により、交付金を受け取るのはありがたいが、課税しない特別法制定の要望とか自治体としてはできないものか。上には逆らえないものなのか。
- 郊外に行くと、畑・田んぼともに荒れて手をつけなくなっている所が多く、市とし

て買い上げ・借り上げ等をして、市が仲介して土地を安く貸して農業全体を盛り上げるように施策を考えてもらいたい。

- 青森県はりんごにかなり力をいれて売り込んでいるが、県外に行ったら無意味。それよりもりんごに替わる青森県にしかないヒバとかを使った物や、カシスを使った食べ物、ニンニクを使った食べ物、米を使った食べ物を青森県独自の 방법으로売り込んでどうか。
- 農業は非常に大事だが、新世代の農業への転換が必要なのではないか。やる気にさせる農業にすべき。だが、野焼きは禁止すべき。
- 農家への支援を惜しまず安全安心な地元の農産物・畜産物が食べられるようにしていただきたい。TPP（※環太平洋戦略的経済連携協定）に反対していただきたい。
- 循環型農業・産業の育成支援。
- 弘前の基幹は農業である。農業が潤わなければならない。生産者への優遇・助成等充実させていただきたい。
- 弥生を市民農園とか、老人もみんな楽しめる農園を作るとか、お金をかけないアイデアを広く募集したらいいと思う。
- 農家の販売の場所、回数をもう少し増やしていただきたい。色々な職種の方が販売することが出来れば、双方とも経済的に余裕ができると思う。
- 農道が一般道と変わらないくらい車が通り危ないので、もっと農道の舗装道路を増やして欲しい。農家が仕事をしにくいように今は思える。

約束2-(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【観光振興】

〔観光〕

- 夏はねふた、春は桜、県外から皆様に来てもらうためにはいろいろと大変でしょう

が、車の止める場所がたくさんあればよいと思う。

- 「津軽百年食堂」の本を片手に熱心に質問している旅行者の方がいらした。官・民一体となって、観光客の方の目線から満足できる細やかな対応があれば良いと思う。(パンフレット一枚でも)
- 観光も地域産業の一つ位置づけるのであれば、多くの観光客が訪れる弘前公園の周りに、市役所、裁判所、学校などがあっても意味がない。それらは郊外に移転させ、跡地にねぷた村のような観光施設を作るべきではないか。
- 百沢スキー場のリフト券(シーズン券)が高い。リフト3基(ゴンドラなし)よりないのにあの値段は、近隣スキー場、他県スキー場と比較していただきたい。
- 観光都市として、桜やりんごの会館を合わせた施設をつくり年間利用できるものを作ってはどうか。ある都市では桜の施設を年中開いている。
- ニューヨーク市のように、facebookを使って市民から直接意見を取り入れたり、海外にアピールした方がよい。Englishのホームページは東北新幹線も半年経っても開通してないし、これで国際都市はないでしょう。外国人になぜ来てもらうか。桜が咲いてない時期、りんごがなっていない時期どうするか。禅林街で座禅、津軽そばを打つ、三味線を弾く、聴く、観る。何を食べてもらうか。どこで寝てもらうか。どうやって来るか。もっと弘前を調べて、それを元に海外をターゲットにした宣伝は必要だ。
- 観光面の充実を図ってください。他県との連携を重要し積極的行動。弘前市への長時間の滞在、そして1泊2日(最低)滞在型旅行のコース等の売り込み。官民の連携。
- 市政の充実にはお金が必要。弘前は観光での収入アップがもっと可能なはず。弘前を中心に温泉など周辺の観光地をからめて、もっとアピールしても良いのではないか。また豊富な農作物を美味しくアレンジする弘前のグルメカももっとアピールできたら良いと思う。
- 弘前の観光は高齢者にはさくらまつりとりんごに関するくらいで、しかも取り組み方に変化がなく、新鮮さを感じない。心に伝わる活躍も感動も普段はあまりない。むしろ青森県内の小さな町や村で懸命に生き残りをかけたイベントに羨ましさを感じる。弘前が明るく元気な住みやすい安心安全な市になることを願う。

- 弘前市はお城とねぷた、りんごと環境、観光資源に恵まれているが、それがそれぞれの関係者や団体の努力・企画運営によるイメージがある。市及び市長によるトップセールスを行なうなど、目に見えた行動が求められていると思う。
- 祭りがある時期は賑わいをもっているが、普段でも観光客がたくさん来る工夫がもっと必要。駅から弘前公園まで見るものが少ないので、何かが必要。市の活性化のために活気のある市にしてほしい。癒しのある事、りんご公園にコテージと温泉もどうか。
- 弘前に来て初めて弘前は弘前城だけじゃないことを知った。もっと弘前城以外のことを東京とかに伝えていったらいいのではないか。また、せっかくさくらまつりでたくさん人が来るんだから弘前市の色々な奥深さ、文化をもっとアピールするのが弘前のためにも良いと思う。こんなに素敵なおところは全く知らなかった。アピールがまだまだ足りないと思う。水がとてもおいしかった。水道水を飲んでもいいことをこちらに来て初めて知った。
- タクシードライバーのマナーの悪さ。窓を開け唾を吐くなど、とても見苦しい。
- 車椅子で観光に来た方にもっと詳しく、トイレや食事のできる場所、楽しめる場所をもっとアピールし、わかりやすくパンフレット等にしてあげてほしい。
- さくらまつり期間中は100円バスを普通料金にしてタクシーまたは歩いて公園に行くようにして町中に少しでも収入が入るようにする。また、公園へは追手門から観光客を誘導する。
- さくらまつりの道路の混雑、100円バスをもっと活用して、弘前の広い範囲を走るようにすればもっと利用客が増え、混雑を軽減できると思う。弘前市は合併し広くなった。期間中だけでももっと活用するべきと思う。
- 大型観光バスの駐車について。市庁舎の前通りの公道を専門に新坂の上から桜大通りの間を占有駐車場にすべき。これまでのしきたりを破り、観光客に不便をかけないようにすべき。
- さくらまつりの駐車場を河川敷から高速を下りた近くの場所に作るか（無料バスで公園）、または市内を通らないでアップルロードを通って岩木川まで行くようにする。高速を下りて市内を通って河川敷の駐車場までは大渋滞で道路を知らない観光客は大

変だと思う。

- さくらまつり期間中、公園の周りを車両規制を実施してはどうか。観光客が自由に歩けていいと思う。
- さくらまつり期間中、弘前公園と弘前中央高校の間の道路に両側が駐車禁止の赤いコーンが1 m間隔で長い距離、立てられ、その美しい桜の景観を損ねている。交通安全、特に駐車違反の対策と考えるが、さくらまつり期間中はやめていただきたい。
- さくらまつりで本丸でコーラスを聴き、とても感動した。岩木山を見ながらは、全国で例がないと思う。またお願いしたい。
- 今年は大震災により催し事の自粛が相次いだ中、さくらまつりを決行されたことは大変いい判断だったと思う。今後も盛り上がるイベントを企画して、市民が楽しめる機会をたくさんつくってほしい。
- 弘前は日本一の桜の名所。五層の天守閣についての説明文が天守閣の脇に必要と思う。また、五層の天守のコンピュータグラフィックを見たい。
- さくらまつりの期間だけでも、仮設トイレを市内に設置してほしい。特に旧国道に面しておりコンビニがないところ。市民として観光客を気持ちよく受け入れるためには行政がもっと気配りをしてほしい。
- さくらまつりのイベントの工夫、もう少し有名人芸人等呼んでほしい。武道館の活用についても、もう少しコンサート等増やしてもらいたい。
- さくらまつりの県内外からの大型バスの観光客は、市庁舎前を中心に下ろし、玄関とも言うべき追手門から入れるのが筋と考える。中央高校口からほとんど入れてるが、裏口であり、間違っている。
- お城に来る観光客が、大きい荷物を抱えたり、引っ張ったりして歩くのに苦労しているのを見る。ロッカーを用意したらどうか。
- 弘前公園の整備は、もっと予算を組んで集客効果を上げる。昔の本丸の再現、銅像も園内へ。とにかく金をかけて整備が必要。入場料はもっと高く。

- せっかくある弘前公園なのだから、もう少し観光地として変身させてみては。駅を出発点とし、土手町から一番町の坂、公園までの道のりを総合的な観光商店街とし、タイムスリップ的なまちづくりを目指してみてはどうか。
- ねぶたの一般住民参加を促す企画必要、現状は古い住民が参加している。また、一般住民の人達がなぜ参加しないのかのテーマについて話し合いを設ける必要がある。
- ねぶたまつりについて、ねぶたの待機場所を確保してほしい。期間中、必要に応じて道路の封鎖も考慮してほしい。去年のように、16時以降の集合では、他の道路で大渋滞が起きてしまう。特に、外堀は、期間中通行止めも考えてほしい。待機場所にトイレが少ない。弘前の全国でも有名なまつりを維持していくため、真剣に考えてほしい。
- ねぶたは夏の風物詩。それがいつでも春とか冬とか人寄せはちょっといただけない。じょっぱり精神で夏だけにしてほしい。
- 弘前ねぶたまつりの市役所ねぶたが扇ねぶたになったが、多くの市民は以前のような市役所にしか出来ない大きな組ねぶたを望んでいると思う。
- 弘前ねぶたまつりで土手町通りを使用するのであれば、可動式の道路標識をつけ、もっと大型が楽に通行できるようできないだろうか。電柱を地下に埋める。
- 毎年のねぶたまつりの件だが、町中をただ運行するだけでなく、町内町内で踊りを付けるとかももう少し元気があっても良いかと思う。青森とは全く違うと言うかもしれないが、弘前のねぶたは近年は静かすぎるように感じる。もっと子供さん達にも元気出してもらったら良いと思う。
- ねぶたまつりについて、一参加団体を無秩序に増加させ、他市町村からの参加を認めたりと弘前ねぶた本来の趣を維持すべき所を逆行しているように感じる。町内会単位等、従来の団体数に戻し、青森市・五所川原市にない落ち着いた、趣きのある祭りへ各方向へ働き掛け、主導していただきたい。
- ねぶたまつりは文化財なので、アニメの絵のようなねぶたやだらしない浴衣姿はやめ、伝統ののっとりたねぶたの運行を徹底していただきたい。
- ねぶた運行は数を減らして、最初から最後まで見れるようにしてほしい。多すぎて

最後まで見れないし、子供が参加するには時間が遅くなってしまふ。

- ゴールデンウィークにねぶたを運行してほしい。ねぶたまつりが7日間というのは長すぎる気がする。期間を短くして。全台数を土手町ではなく、例えば、岩木川の河川敷とか。ねぶたとねぶたの間が長すぎる。引き手の人がもっと工夫するべき。
- 秋のもみじ、京都にも劣らない美しさ。短い期間でもライトアップして市民にサービスしたらどうか。
- 雪まつりは中止していいと思う。今後雪が少なくなり、それにかかる費用を除雪にかけてほしい。
- 弘前雪あかりをもっと広めてほしい。
- 雪燈籠祭りで、お城の周りにスプレーで着色した雪像や、作った会社の宣伝になる雪像は不釣合いだと思う。本来の幻想的なお祭りに戻していただきたい。
- 花火大会を梅雨時の6月にやるのが理解できない。ねぶたまつりの前夜祭として7月31日にやるべきではないか。
- 毎年6月の花火大会、もう少し遅らせた方がいいのでは。気候のせい、毎年見ているが花火がきれいあまり思ったことがない。
- 6月に開催されている花火大会をさくらまつり期間中に変えたらどうかと思う。
- 花火大会について、時期が早いので農家の方達は参加できないが、会社員や学生を対象にしているのか。また、駐車場が遠すぎて、子供や祖母などを連れて行くことができない。
- 観光産業に力を入れるのであれば、旧ジョッパルの建物を利用していただきたい。既にある物産館に体験型の要素を加えたような、例えばりんごのお菓子を作れるとか、りんごでエステとか、ねぶたの時期にねぶたを観れるガラス張りスペースを設けるなど。このような体験型施設がもっとたくさんあれば、地元に住んでいても観光客向け施設に行きたくなくなると思う。

〔築城400年祭〕

- 「たか丸くん」の印象が良い。もっとメディアに出て弘前市をPRすべき。(アニメ化や他の地域のマスコットキャラとも交流を深めるべき。歌や子供向けの体操音頭など「かわいさ」を重視したPR活動を期待)被災地の避難所で子供たちとの交流や炊き出し等にも参加してはどうか。
- 築城400年祭について。イベントだけでなく、歴史ある殿様等の書院等の開放、講話などしてほしい。
- 弘前城築城400年祭の市民への呼びかけが少ないと思う。※弘前の歴史や「ためのぶ」の伝記をやさしく楽しく誰でも手軽に接する事ができるように広く教える。マスコットキャラクターの「たか丸くん」を弘前のねぶたと同じ位に全国に宣伝する。弘前の桜が日本一なのだから、大いに売り出す。(Tシャツ、ぬいぐるみ、その他いろいろ)できることならスーパー等のような所でも売り出すとか。
- 弘前城築城400年祭を迎える城下町弘前。着物がよく似合うので、市長が殿様、大名行列とか。公園には人力車とかあればいい。
- 築城400年という節目にも関わらず、その観光的要素を充分活かしてきれていない。あまりにもイベント関連の事業が貧困だと思う。
- 400年祭が終わった後の観光産業の活性化を図るべき。りんごやりんご関連商品のPRも良いと思うが、何か他にもPRするものはないのか。文化的によいものはいっぱいあると思う。

約束2-(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます

【商工業振興】

〔商工業〕

- 土手町やジョッパルなど、市内中心部の商工活性化進まず。難しいことは多々あるのは理解できるが、もう少し大胆な動きが必要。

- ジョッパルを商店プラス各種の集会施設、地域農産物の販売などへの活用。1階、2階はガラス張りにして中が見えるような施設にして明るさを出せればよいと思う。楽しくなれる面を出せるように。
- 弘前駅前のジョッパルの活用を早期にお願いしたい。町中の活力がどんどん失われていくような気がする。特に運転の出来ない人、学生などには便利な場所である。役所が公園の前でなくても、駅前に来たら街の中が活性化するのではないか。
- ジョッパルを市で買い上げ、市役所や保健所などをジョッパルに集約させればよい。エレベーター、エスカレーター、冷房があるのだから。今ある市役所の場所は建物は壊し、さくらまつり期間中、駐車場にすればよい。ジョッパルの地下にはどこかのスーパーに入ってもらい、ビルの中に税務署なども入ると、町の中心部に一つにまとまっているので利便性も高いと。また、職員の子供用に保育園もしくは託児所もあるとよい。
- ジョッパルとその駐車場がもったいないと思う。駅地下の駐輪場はJRの最終列車等の時刻では取り出せない等、自転車も時刻によって使えない駐輪場ではなく、観光にも研修等にも広い視点で使用出来る方式でジョッパルの駐車場、駐輪場とコンサートホールを利用できないでしょうか。
- かくは跡地、ダイエー跡地、一大小跡地などの利用活性化を望む。「買い物難民」と言われる土地で大きなスーパー、食料品店など次々と閉店して困っている。新市には大きな店が多いが、旧市内は大きな商店が閉店して自家用車のない高齢者は困っている。
- 駅前ダイエーの活用について。下の階を市民に区画を分けて無料と有料を分ける。商店も必ず入れる。できれば農家の人にも。
- いつまでダイエー跡地をそのままにしておくのか。中・高生の不良のたまり場になっているのに気付いているのか。駅前の場所でこんなことでは、何が400年祭か。県外の人に恥ずかしくないのか。
- ジョッパルに病院を入れ、地下には食品、衣料、薬局など日常生活に必要なものが手に入る店を入れて、高齢者が一ヶ所で用事が済み、医療、生活、娯楽ができる総合施設を作って欲しい。弘前にも五所川原的なELMのような1日いても飽きないショ

ッピングモールを作って欲しい。皆、五所川原、青森へ流れ、弘前は死んでしまっている。

- 普段買い物は五所川原のエルムに行きます。弘前買い物するところないです。（近所のスーパーは行きますが、休日は青森or五所川原です。）弘前近辺に大型ショッピングモール誘致できないですか。
- 市街地に買い物する場所や、娯楽施設が少ないと思う。楽しめる店が少ないので、五所川原（エルム）等に出掛けてしまいます。市民や観光客が楽しめる（ショッピング、食事）お店が、公園や駅周辺にもっとあればいいと思う。
- 農家の収入が少ないと飲みにも行かないし、欲しい物も買い控え、市内の商業施設には足を運ばない。土手町が寂しくなったのも魅力ある店がないし車も置けないから。五所川原のエルムは若い子が着る服のテナントが多く、県外からも車で来るとか。若い子が集う場所がなさそう。
- アウトレットモールなどの商業施設の誘致。若い人は青森・五所川原・柏方面のショッピングセンター、お金のいる人はバス代をかけてまで仙台方面へに買い物に出かけていると聞く。また、大館等の北秋田方面の人達は弘前市内によく買い物に来ているとも聞く。商業施設の誘致で地域経済の活性化、雇用の場の創出にも繋がるのではないか。
- 四季折々の風景を楽しめる弘前は、環境面ではまあ満足しているが、駅前や土手町の商店街の活気のなさには不満足である。五所川原エルムに負けている。
- 津軽そば、支那そばのブランド化。
- 新幹線開業などで確かに観光産業には大きなチャンスと見る事もできるし弘前には観光資源も豊富にあり有効であるが、ある意味、天候などいろいろな条件に左右されやすく、予測しにくいところもある事が今回の震災でもわかった。もっと農業や観光以外の何かの産業を根強く充実させる事が必要なのではと思う。もっと大胆な企画を望む。
- 1次産業の拡大化には限界が見え、2次、3次、加工、流通の方向を目指すべきではないか。商工業振興のためにも2次、3次加工を可能にするために、弘大と連携して振興策を定め、若手経営者の育成、雇用の拡大を模索してはどうか。

- 冬期の雪を利用した新しい産業や循環型社会のモデルとなるべき。市内には弘前大学などの学術機関もあるので、そこからの知を新しい社会の創造に活用してはどうか。
- 土手町が、よさこい津軽やねぶた運行など、活気あふれるイベントで毎月1回くらいでも集客できることを何かしら仕掛けてほしい。さくらまつり期間中のねぶた運行は楽しみの一つでもあった。
- 行政に頼っている中心商店街よりも、頑張っている個人・企業を応援してほしい。
- 土手町を何とかしたかったら、①駐車場を無料にする。(※無理であれば市営にして税金上げてもいいのではないか。)②大型店の空き店舗に子供たちがたまりやすいショップをもって来る。③中央資本と地元資本の適度なミックス感。ダサイけどオシャレ、みたいな。④人が来ないビル内に有名店入れてもしょうがない。やるならハデに、地元資本に有利な条件で進出する機会を。
- 提案として、この度の震災で被害を受けた各工場等を工場ごと誘致してはどうか。復興支援、雇用対策双方効果が期待できるのでは。
- アルカディアの土地を3年無償レンタル・税金の免除をして工場を誘致し、若年層の雇用を促す。
- 市の歴史・伝統・文化等の社会的環境と世界遺産の白神山地等の自然的環境の共有効果を有効活用する。例えば、製菓企業の研究開発の拠点地としての企業誘致のコンセプトの柱とする。
- 高齢者世帯支援について。以前、東郡町村を取上げた新聞記事を見たが、地域に生活している高齢者が買い物をしたくても同居する家族が自家用車を持っておらず食料品などの買出しなど(特に冬期間)に困難を極めているようだ。市の中心部から離れて暮らす高齢者世帯でもそのような実情があるかもしれないので実態調査を行なってはどうか。
- 地元で生産(工業品含む)しているのに、知らなかったため他県から調達している企業もあると思うので、地元中小企業の生産している商品を実際に確認して、必要企業に紹介できる部署の設置をお願いしたい。

- 土手町の活性化は誰が市長になってもできていない。無料の駐車場がないと人は集まってこない。また、フランスのリヨン市みたいなものをシャッター街となっている土手町には必要かも。
- 新聞記事を拝見していると商工会関係に多く力を入れているように感じる（不満）。
- 「お城とりんごと桜の町」確かに大事ですが、いつまでもそればかりうたっているようでは発展しません。土手町活性化なども思い切った事をしないと無理です。例えば、市民課を土手町に持ってくるとか、弘前の学生塾を土手町に持ってくるとか、人が必ず集まるようにする。ねふた期間中塾に支障があるなら、コースを途中から変えたり。
- 弘前市のメイン通りのはずの土手町が商店の閉鎖が多く、街歩く人も少なく日中は老人が目立つ現在、寂しく感じております。その提案として、店の一軒をミニ図書館的にし、喫茶もあり、ご老人が自由に出入りしたり中では朗読会があったり、子供たちも自由に出入りするというのはいかがでしょうか。
- 空き店舗を行政指導で復活させる。鍛冶町等に歩行者天国を施行させてほしい。
- まず、街中を弘前らしいものにする工夫を。なんでも都会の通りにしても、人口が少ないので無理。昔の弘前としての香りがなくなり、駅に降り立った他県の人戸惑っています。まずは、途中になってしまった再開発をなんとかしないと前のままの、人通りがなく、それに加えて前の住人（大町）もいなく、空き店舗だけの寂しい駅前です。何のための開発だったのか考えさせられます。
- お年よりは買い物場所が遠くなり大変だと思う。地域商店街を復活させ、普段着で歩けるような町。
- 駅前から公園までスジの通った商店街。（仙台のアーケード街みたいな）人口減に伴い、公共施設・商店等ター極集中をして町の活性化を。
- 土手町をより利用しやすく、活性化するよう、無料の駐車場や小さい子供や赤ちゃんを連れた方にも利用しやすいトイレを確保してほしい。無料または低価格で休憩の取れる室内caféを各場所に配置し、できればアーケードのあるモールのような場所もよいと思う。上土手、中土手、下土手と商店街を分散せず、例えば、中三デパート周

辺を徹底的に店舗を集中させて人の通りを多くさせることが大切だと思う。開いた店舗を市が助成して若い方たちにいろいろな店を出させるようにしていただけたら活気付くと思う。もちろん、老舗と新しいアイデアの店とが並びあってお互いよい影響をし合う土手町になってほしい。

- 土手ぶら街の復活に期待する。古きよき時代、学都弘前、女学生・学生が集まり大いに土手町がにぎわっていた。書店・喫茶店がたくさんあった。小ぢんまりとした多種多様なお店作りを願う。
- 上・中・下土手町にもっと魅力のある、朝市でも月一回とか、もう少し出掛けようとする何か欲しい。ただ道路工事ばかりが目立つ。

※ ジョッパルの活用等に関する意見は、全部で31件ありました。

〔雇用〕

- 「ひろさき仕事おこし推進事業」は若者にとって大変素晴らしい企画であった。短期雇用ではなく、末長く若者たちが働けるように、弘前市で応援してあげたら本物の「ひろさき仕事おこし推進事業」だと思う。正社員に向けて導いてやっていただきたい。
- 雇用と低賃金が最大の問題である。公務員ばかりでなく中小企業の従業員の賃金の向上を考えていただきたい。社長の意識改革が必要かと思う。若い人たちが都会に出て行かなくても、地元で家族を築いていけるような市にしてほしいと思う。若い人達は子供をつくることもできない。
- 若者の働く場所を確保してほしい。給料が安すぎ結婚できないでいる30~50歳の男性がたくさんいる。子供たちの笑顔の前に子供を産める環境づくりを。
- 若者が住みやすい町づくり。現状では県内に留まりたくても産業がなく、就職できない。もっと若者のために就職の場を設けてほしい。
- 雇用につながる介護事業。特に私立、法人事業所の指導を市としてしっかりやってもらえないものか。劣悪、薄給で若者を使っている事業所が多い町だ。これでは、介護資格者をいくら養成しても長く働こうと考える者がなくなるし、雇用の受け皿にも

なり得ない。

- 何よりも雇用の確保。生活に苦しんでいる人々、仕事を与えられていない人に仕事を。そして、それができるならパート、アルバイトなど低賃金で働かざるを得ない人々の権利や賃金を上げる努力を。働きたいけれど仕事先がない人々はたくさんいる。
- 子供のいる母親はなかなか仕事ができず、子供のいない若い子ばかり仕事があるという現状に理不尽さを覚えた。市政云々も重要かもしれないが、雇用の拡大、少子化対策も考えていただきたい。これでは、第2子、第3子と考えていても経済的にあきらめるよりない。弘前市の未来を担う子供達がこのままでは減少してしまう。子供を安心して産み、育てられる環境が今の弘前市にはない。この状況が長く続けば、弘前市の人口は減るかもしれない。
- 職業安定所を違う場所へ移し、行きやすくしたほうがいい。狭い、混雑だと行きにくく、行けない人も出る。仕事を見つけるのにも時間もかかり、悪循環である。
- 職場の有休が自由に使える社会、地域性になるといいと思う。ゆとりのある仕事環境作りに力を入れて欲しい。
- 生活保護受給者より月収の少ない会社員が多すぎる気がしている。日々の暮らしは苦しい方が多いのではないか。

※ 雇用対策に関する意見は、全部で31件ありました。

約束3 魅力あるまちづくりを進めます

〔安全・安心〕

- 道路の防犯灯を増やしてほしい。土手町通りはそんなに人が通っていなくても夜は明るく、逆に脇道にそれると暗く感じる。バランスが悪いと思うので、改善が必要。
- 地域によっては、まだ防火水栓、浄化槽等が設置されていない。

- 学生の、夜間の自転車の無灯火運転をなくして欲しい。すれ違う直前まで気が付かず、びっくりすることがある。
- 砂利道の道路が散見されるので市道に編入の上対応出来ないものか。市民の目線で議論がほしい。
- オーナードライバー初め、運転手のマナーが非常に悪い。ウィンカーを出すのが非常に遅い。若しくはウィンカーを出さずに右左折したり、脇道より進入する。バス・タクシーあるいは宅配便の車が右折のウィンカーを出してても、絶対といっていいくらいに優先して通してあげない、一時停止しないなど。安全教育の徹底、違反者への取り締まり強化。
- 「自転車も交通ルールを守って走りましょう」のパンフレットが配布されているが、車道は狭すぎて危険な所が多い。歩道も本局から土手町へ向かう道路のように安心して、しかも冬も多少通行可能なものとして整備するようにしてほしい。特に学生の通うような所は早急をお願いしたい。駐輪場も屋根付のものをもっと利便性の多く設けるべきである。
- ベストウエスタンホテル側にも駐輪場があればということです。市の駐車場は広いスペースですが、何回か利用させていただいていますが、満車になったことを見たことがありません。駐車場の半分のスペースでも駐輪場に出来たらと思った次第です。
- 小・中学生の自転車の乗り方の指導を強化していただきたい。角、信号のない交差点で止まらない、雪が残っているのに乗っているなど、非常に危険で事故も多いと思う。
- 下水道整備も進んでるが、歩道整備と市街地に非行防止のため街灯設置を願いたい。

〔防災〕

- 今後起こるかもしれない災害に備えて、多くの住民が避難できるような防災施設の設置を希望する。普段は子供が遊ぶような施設だけど、いざという時は防災施設になるような無駄のない使い方で。

- 市が提供している災害関連情報とは何か、防災マップなどはあるのか。防災マップはすぐにも回覧してほしい。
- 防災について早期に電力供給の確保、非常用電源の確認。特に病院、警察、市役所、消防、学校の電源、水、下水道、災害時の対応の点検、マニュアル化。目屋ダムからの電力確保等。国、県の合同庁舎の設置、検討。病院の集約化へ向けた取り組み。例えば弘大～アルカディア～黒石病院～常盤会病院とのネットワーク、災害時協力等への取り組み。岩木川、浅瀬石川の上水道確保のための再点検。
- 青森県の防災について。原子力施設事故想定した具体的対応提示公聴会の実施願います。例えば、①弘前洪水マップ（平成21年3月）がありますが、スピーディシステム導入により、放射線汚染マップ作成提案します。りんごが心配でなりません。②未来の子供たちのために検討記録を残すべきです。
- 災害の情報は流していたが、対策はどうなっているのか。災害時に頼れるものは市が提供する災害マップやマニュアルではないか。
- 弘前市の米の備蓄が「ゼロ」というショッキングなニュースを聞いた。その後、市政はどのように対策を練ったのか。豊かな弘前市がみずからのためと利他の思いで今すぐにも備えを持つように始動されるよう祈るばかりである。
- 防災について。平成23年4月20日東奥日報社説、震災備蓄食料、暖房器具保有していないとあります。今後町会単位で防災検討会をお願いします。
- 各町内の避難場所はどこになるのか。市全体で災害を想定した避難訓練や、災害時に必要なことや物を書いたパンフレットなどがあればいい。季節や時間帯によっても異なるので、市民全体で意識を持たせることも大切だと思う。
- 東日本大震災を機会に考えてみましたが、自分の地域の避難場所がわからないことに気がつきました。広報か何かで市内の避難場所を確認してもらいたいです。弘前市として災害に備えて要所要所に防災用品が備蓄されているのでしょうか。
- 危機管理について要望します。1、非常時に対応する食料等の備蓄に対する市の考え方は。2、非常時には市職員が先頭に立って事に当たることになるが、失礼ですが職員の危機管理に対する意識が非常に希薄に感じられます。3、何よりも市民に理解いただくことが重要であると思う。そのためには、日頃より多少の緊張感を保つよう

な工夫が必要ではないでしょうか。

〔雪国生活〕

- 〔問30〕で住みにくいと答えた理由は2つある。1つは、税金が高いこと。2つ目は、高齢者住宅前の冬季の除雪のあり方である。北海道の旭川市では、ある高齢以上の家では申告すれば冬季除雪の時間前には雪を置かないとのことである。冬季の家の前の硬い雪の除雪はとても辛い。ぜひ改善してもらいたい。
- 市の除雪対策は不十分である。私共が除雪した後に業者が玄関前やガレージ前に大きな雪塊を置いていくのに辟易している。こういう状態をなくしてほしい。
- 近隣市町村と比べ、非常に冬期の除雪が粗末である。あまりに厚く残した除雪のため、いつも轍ができ、狭い道路をより悪路にしている。納税者として腹立たしい。業者を教育して欲しい。
- 雪国の対策として、空き地の所有者に協力をお願いし、冬期間の雪置き場にさせてもらう。その場所を町内を通してお知らせする。アパートの管理者にも伝え、道路に出さないよう徹底してもらう。モラルがない人がすごく多い。アパートを建てる時に、除雪スペースの確保など基準がほしい。せまい道路など特に見回り、市職員から注意してほしい。近所の住民同士では言いにくい。
- 幹線道路の除雪はよくなっているが排雪がセットになればこそである。生活道路に関して、朝早く起きて家の前の道路を完全に除雪排雪までしているのに、隣近所の雪を家の前に置いていかれるのには閉口する。もう少しセンスのある除雪をお願いしたい。
- 冬、早朝1時に積雪が10mになっていなくても、大雪注意報が出ている時は除雪車の出動をお願いしたい。
- 融雪溝がない地域は、特に排雪の回数を増やすなどできないものか。
- 冬の雪の除雪について、通学路の歩道をもっと広く除雪してほしい。道が狭く非常に危険である。特に空き地は、誰も除雪した雪を片付ける人がいないので、少し広めに除雪していただきたい。

- 合併してから冬の除雪がものすごく雑になった。旧岩木町、旧相馬村だった方が丁寧だった。今の状況はすごく残念。
- 融雪ポンプ等のため、地域一帯の沈下。
- 消融雪溝が設置されているのに何故に雪山で歩道が通れないのか。利用するのに規制でもあるのでしょうか。通学路もあるのに、管理しないのでしょうか。せっかくの設備をフル活用してこそ意義があるのでは。
- 除雪・排雪がとても良かった。回数が多く、丁寧だった。

※ 除排雪に関する不満の意見等は、全部で90件ありました。

〔道路整備〕

- 街路樹の管理をお願いしたい。特に岳地区、弥生憩いの広場への道路。岩木山環状線へ植えたオオヤマザクラ。防風林の手入れ。
- 歴史ある街並みを残しつつ、都市計画による道路の整備を早く進めてほしい。
- 歩道の整備がなっていない。学生の多い街なので、もちろん自転車の利用者も多くその大半が車道へ広がり運転をしている。そういった人達に対しても、運転者に対しても決していい状態とはいえない。また、歩行者も冬期間、除雪の悪さ、歩道がないため交通の流れを乱す。無駄な渋滞が多いので経済効果も悪くなる。
- 市内の道路について、バス通りや市役所周囲は道路が整備されとてもきれいだが、住宅地の奥地となると全部アスファルトになっているとは限らず、今年のような震災や火事が起きたときはパニックとなり得る可能性があるので、農道にもアスファルトを敷いていただきたい。
- 身体が不自由な方々のために道路整備をきちんとして欲しい。道路は弘前城下町の美しさをお願いしたい。
- 自転車をもっと使いよくするために。自転車を安全に使用できるように専用道をつ

くっていただきたい。自転車のマナーが悪いという話をよく耳にするが、まともに走れるところも無い状態で、自転車ばかり悪者扱いするのはおかしい。また、観光で市内を効率よく安全に回るためにも、貸自転車と安全な道路はセットになっていないと意味が無い。自転車観光先進都市「弘前」というのもアピールできるのでは。

- 弘前市は自転車を使用している人の数は多いのに、対策が何もなされていません。マナーがとても悪くて、危険な思いをいつもしています。東京では、歩行者と自転車の通路を分けて作っている所があります。弘前の道路もあんな風になれば安全なのになあいつも思う。歩行車道の幅が少し狭くなくてもかまわないので、自転車が通る道を別に作ってほしいです。
- 歩行者、自転車に配慮した道路。歩道と車道の段差の高さが違いすぎるところは、ベビーカー・車椅子・自転車の移動が大変。側溝の金属製のふたが雨の時滑る。
- 道路整備に関してメンテナンスをきちんと行なってほしい。歩道が危険になっている箇所、雨が降ると水が溜まる箇所など、関係部署で早く把握する方法を確立し、すぐに対応できるようにしてほしい。
- 観光客に武家屋敷の場所を聞かれる。標識があると思うがもっと分かりやすくした方がよい。弘前は標識が少なすぎると思う。車で来る県外の人がたくさんいるはずなので、その人達が安心安全に目的地に着けるよう努めてほしい。

〔河川整備〕

- 市内を流れている河川の整備がどこが担当で何時に行なうのか不明。どんどん荒れてきているので何とかしてほしいものである。（増水でもしたら洪水になりかねない）
- 中三の裏の川のように整備するのはいいがその後もきちんときれいにしてほしい。第一中学のそばの川は草が生え、最初とは全く違うようになっている。去年、一中生がコスモスの花を土手に植えていたが草に隠れて台無しになっている。やるならフローもきちんとすること。
- 中三の裏の川にいた鯉（動物など）などを大切に扱ってほしい。（工事をしてから鯉がいなくなりました。）思いやりを持って接することを教育にも取り入れれば今の小学生、中学生、高校生の生活態度もよくなるのでは。

〔公共交通〕

- 100円バスの土手町循環が冬場は17時で終了となるが、せめて17時30分にしてもらいたい。冬場でも利用する客はある。市民の足として削らないで欲しい。
- 車の運転を止めた高齢者にとっては、バスやタクシーを利用して買い物や通院をしている。100円バスが10分待てば来るので大助かりである。市役所と弘南バスが相談して、土手町循環線を覚仙町を通らせたならば、寺参りの人も助かるのではと思っている。
- 初めて来た人や、初めて使おうとする人がわかりにくいバス停。特にJR弘前駅。何回も乗ろうとトライしてみましたが、乗りにくく使えなかった。どのバスがどこを通るのか、どこに行きたい人はどのバスに乗ればいいのか、その一覧表を大きく示してほしい。また、時刻表の一覧表も示してほしい。
- 市の中心街には、色々なバスが通って便利ですが、城北に住んでいますがバスが1時間に1本位しか通っていません。100円バスの運行をそのような不便な所にも何本かで良いので通るように市からも要望してください。
- 青森駅～弘前駅の複線が絶対必要である。交通アクセスなくして観光地はあり得ません。20万都市への努力をしてもらいたい。
- 新幹線が通ったとはいえ、弘前から青森までの交通が不便なので、私共はバス（ヨ一デル）にて盛岡に行き上京します。時間も短くお金も安い、その点もっと弘前の人々の事考えて欲しいです。
- JR青森—弘前間の複線化。また、列車の特色化。（例えばSL、南部縦貫のレールバス、都電、地下鉄の旧型車両、廃止になった特急車両、トロッコ列車等々）
- 弘南鉄道の駅前も淋しい所が多いです。始発駅を延長してはどうか。撫牛子や、藤崎方面など接続すると病院と学校へ通いやすいです。

〔生活環境〕

- 空家の撤去。(空家が多い、調査してほしい) 長期空家で将来入居のない空家は防犯、火災予防、衛生環境上極めて好ましくないので、持ち主の許可を得て撤去するようお願いします。
- これからも産業廃棄物を燃やせるごみと燃やせないごみにしっかり分別して、燃やせないごみのモルタルやコンクリート等は埋め立てに使う、トタンや鉄筋などは溶かしてリサイクルして弘前の街をごみの無い街にしていってほしい。
- 北海道の地方都市ではごみ袋を一枚20~40円で販売してごみの回収を有料化している。このくらいの意識がないと削減も不法投棄もなくならないと思う。官民あげてというならこのぐらいやってみたらどうか。
- ごみ捨てで、乾電池を捨てる日が欲しい。
- ごみの収集時間が9時から11時になり、カラスで困っている。
- ごみの収集は、一律8時30分からということなしに、カラス対策のため、10時とか12時とか町会ごとに差をつけることができないか。
- 祝日等のごみ収集は必ずしも必要なことではないと考える。
- 燃やせるごみの収集は1週間に1回とし、ごみ袋はぜひ有料にすべき。無駄を省く意識の高揚と税収の増加。
- 毎年ごみ出すカレンダーを配布してほしい。私が住んでいる地域は2年に1回しかポストに配布されていない。
- リサイクルできるプラ、牛乳パックなど、スーパーで回収している所がユニバースくらいしかないので、もっと回収ボックスを設置する場所を増やしてほしい。また、リサイクルの可否がわかりにくいので、わかりやすい表示をしてほしい。
- ホームページによるごみ分別の検索。ポスター及びホームページのごみの分別があまりに大雑把すぎて、とても探しづらい。ポスターは仕方ないにせよ、ホームページのごみ分別で、例えば「カセットテープ」と入力すると可燃ごみ、不燃ごみなどと検索できるようにしてほしい。

- ごみ袋の色、緑から黄へ変更希望。カラス対策で黄色に効果を見るというのはいかがか。
- ごみの集め方が不満。冬12月～3月まで車の激しい所を渡って向こう角まで行く。まだ雪も降っていないのに決まりだと小路に入って来てくれない。
- 岩木・相馬との合併前のごみの分別がようやく軌道に乗り始めたのに、合併後は後退してしまった。残念でならない。
- ごみの回収が、戸別のところと集約しているところがあり、統一が必要ではないか。班をつくり一ヶ所にごみを集めている町会と、自分の家の前に出している町内がある。この場合、ごみ収集車が通行の妨げとなり交通が渋滞している。町内で違っていてもいいのか。
- ごみ収集車にほうきとちりとりを常備し、ごみ置き場にごみが残らないよう清掃して行っていただきたい。ごみのないきれいな弘前市にするよう、もう少し努力してほしい。紙資源のリサイクルへの積極的な取り組み、新聞・雑誌・カタログ・コピー紙・シュレッダーにかけた紙等のリサイクルを促進してほしい。

[エネルギー]

- 原発事故教訓から持続可能なエネルギーへの転換を全国に先駆けてほしい。
- エネルギーの転換について。青森県の原発、六ヶ所の日本原燃、燃料サイクルについてはこの地震国にとって絶対安全とはいえない。放射能の恐ろしさを学び、エネルギーについて考えるべきである。
- 弘前市は東北地区でも有数の中核都市の要素を持っていたのにも関わらず、産業が衰退してきている。一次産業の従来の産業構造をさらに進化させることや全ての産業や環境において、最先端の技術を取り入れることが要である。というのも、弘前城自体400年前当時の最新の土木技術を取り入れ、まちづくりも計画的であったことが現在の弘前市の財産になっており、いにしえに学びどんどん革新的な要素の事業を起業すべきである。手始めに、省エネ都市づくりから。

- 太陽光発電への積極的な取り組み。
- 今回の東日本大震災による各県の自治体の中で独自に行動を起こしている自治体の行動によく注目してほしい。これからの電力エネルギーの供給を自治体が独自に考えていく。また、電力会社に売買するといった手段を考えていく事も必要と思う。
- 剪定後の枝の活用。樹木の燃料として活用等。

〔景観〕

- 岩木山を含めた景観の素晴らしさと冬期の雪を考えたとき、ぜひとも電信柱の地中埋設を推進してほしい。
- 景観に対する意識がまだ低い。蔵を保存したり、生け垣を奨励したり、津軽塗を学校給食の場で活用したり。いろいろな地場産業をまだまだ活性化できる。街並みも城下町の名が崩れるほど魅力に欠け、淋しい。必死に守り育まなければ、10年後にはエセ・モダンの醜い建築群ばかり。日本人として、強い意志で改革・再生していかないと「ふるさと」は壊滅してしまう、大切な地方の文化が。予算を回してでも取り組みをお願いしたい。
- 弘前駅周辺に高い建物があり、少し圧迫感を感じる。景観が損なわれ、残念に思う。
- 景観条例の徹底。弘前城周辺の高層住宅建築、屋根、壁（色等）、様式等の制限。また、古建築物の維持、管理の市の助成。
- お城あつての弘前である。そのお城の中から、城以外の建物が見えるのは誠に目障り。城址公園の木々の上に異物が見えるようでは、せっかくの景観が台無しだ。本丸広場から町並みが見えるのとは全く趣を異にする。条例を制定して、建築制限をすべきだと考える。
- 景観計画に対して以前に大町で実行したがうやむやになり、結局計画倒れに終わったことがあると思う。今回はせっかく制定した以上はきちんと実行して欲しいものである。また、屋外広告条例にしても市は小京都と言いながらも至る所に広告物が多すぎる。景観係りは機能していない。小京都という以上は京都、奈良県を少しは習う事も考えるべき。

- 全国的にも類似した都市がいっぱいありますが、県内または東北でも古いものを大切にしていない都市は残念ながら弘前は「古くて良いものは新しいものだ」という言葉を無視しています。何か近代化すると古いものを捨ててしまう、津軽人の欠点だと思っています。お城はもちろん、お山も環境も大事に伝えていきましょう。
- ここで生まれて育って来ました。岩木山のある弘前が大好きです。この後も生涯、この地だと思っております。子供の頃から見てますが、良い方向の町になっておりますが、時代とともにあまり近代化されても弘前の本当の良さが薄れるのではないかと感じます。ほどほどにシンプルな町も大事かと思う。

〔公園〕

- コンクリートで整備された公園ではなく、木や芝生のある方が環境的にも良いのではないか。
- 小さい子供が安心して遊べる遊園地があったらいい。虹の湖の道の駅みたいに、車が止められちょっとした食べる所があって、家族で遊べる場所。
- 子供を遊ばせる公園が少ない。自分の住んでいるところには全くない。遠くの公園へ行ったりするが、駐車場のないところがほとんどで不便に思う。
- 夏がすごい暑いのに、夏場水遊びができる公園が全然ない。子どもがいると、プール以外で水遊びできる所がないと夏は家の中に閉じこもりがちになる。
- 石川の大仏公園の桜は、弘前公園を見て帰る人、国道7号線から見るととてもよいのですが、近年、桜の手入れが悪く、花が見事ではありません。桜の町、弘前にしたいと思うので、公園以外の桜もよくしたらもっともっとよくなると思う。
- 弘前公園内のさくらが咲き終わると人出が急に寂しくなります。その穴埋めに花壇を多くしたり、蓮池の蓮の花を多くしたい。その他の濠にも蓮の花を増やせないか。園内を一年中花だらけに出来たらもっと楽しくなると思う。
- 弘前公園の通年無料化。「通年入園者総数（さくらまつり200万人+〇〇万人）」－「通年有料入園者数（〇〇万人）」＝「この式の答え」となる百万人以上が有料区域に入ら

ないで帰っているとすれば、公園及び弘前を宣伝する上で大きな損害になっている。

- 公園の中を中央高校側から一般車が入ったり芝に小さなテントを張ったりしているので公園でのマナーを徹底してください。
- 弘前公園の自然が少なくなって来ている。(濠の周り、本丸北側) 本当の自然のままの方が鳥が来る場所が、整備されすぎて野鳥が来なくなったのは残念。
- 公園の有料化について、やるなら全園有料にしたほうが良いのでは。さくらまつり以外の時期は経費のほうが多いような感じがする。
- さくらまつりに行った時、子供たちのトイレに困った。公園内のトイレは子供にとっては暗く、使いづらいので、整備してほしい。
- 小さい公園でも犬猫禁止になっていますが、入れる所もあった方が良くと思う。有料でもいいので、ドッグランを設けてほしいです。
- 弘前市内の公園は全て犬猫が入ってはいけないことになっている。現在、ペットを飼っている家庭は多く、また、他県からの観光客もペット連れが多いと思う。他の自治体を参考に、もう少しペットに対しても柔軟に対応してほしい。特に弘前公園も、エリアを限定してペットも入れるようにしてほしい。
- ペット散歩時の糞置き去り、ポイ捨てに罰金かペナルティーを。
- 追手門広場に子供が遊べるスペースが欲しい。日曜日にはたか丸くんが登場するなど。一緒に記念撮影できるようにしてほしい。
- 駅前から大町、土手町などに小広場、公園があるが、もっと多くの休憩場所をつくり、ゆっくり散策できるように整備していただきたい。

〔上水道〕

- 水に関して。人間の生命維持に最低限必要なものは、水と空気だと考えている。弘前の水が浄水器無しでも安心して飲めるように、水質の安全基準を高く厳しくしていただきたい。また、貯水池の衛生管理も含め、化学薬品に頼らない自然の浄化(スミ、

ゼオライト、納豆菌等)を真剣に考えてほしい。水浄化のための事業に予算をしっかりと確保してほしい。

約束4-(1) 子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】

〔子育て環境〕

- 「子育てするなら弘前で」について。弘前で子育てすることにより、どのようなメリットがあるのか明確に伝わってこない。西目屋村のように、ある年齢まで医療費無料、子供のいる世帯に生活環境の整った公営の住宅を提供するなど、具体的な施策がない。あるのかもしれないがPR不足。青森市や八戸市は夏期間だけでなく、冬期間でも屋内の乳幼児の遊び場が確保されており、同世代の人達との交流も持てる。弘前は団体や会に所属しないとそのような機会はないように感じる。もっと気軽に誰でも出かけることの出来る場を提供してほしい。
- 女性が子育てをする際に、孤立しやすい土地だと思うのでその点に力を入れるべき。弘前は雪が多いせいか公園があまりに少なく、産科で友人を作っておかなければ「公園でママ友を作る」ということができず、「孤育て」に陥りがち。また、赤ちゃんと参加するママ向けのイベントが広報では見ない。近所の方にも「保育園に行くまで子供に友達がいなかった」という話を聞き驚いた。孤独で悩んでいるママがとても多いので、何か市でも力をいただければ。
- 若い人々が安心して2人以上の子供を産み、育てられる環境を作っていただきたい。それは今、葛西市長が取り組んでいる事と同義かと思われるので、このままどんどん推進していただきたい。
- 子供の医療助成制度の確立。青森市では将来的には小学生ばかりか中学生までの拡大を目標としているのに、弘前市は何ら動きがないのはとても不満である。
- 男性でも女性でも、子供の病気時などに仕事を休める体制をつくって欲しい。
- 待機児童の数が全く減らない。何も策も講じていない。行政ができることは考えれ

ばかなりあるはずだが。

- 子どもを持つ親として、3月の東日本大震災の際、市運営の保育所に子どもを通わせているが、まったく保育所と連絡が取れなかった。他の保育所は、いろいろな手段で親と連絡を取り合っていたようだが、何かしらの連絡手段がないと親としては不安である。
- 求職者が子供を保育園に入れるとき、5ヶ月までしか入れられないのはおかしい。5ヶ月で見つかるほど仕事が無いのは知ってるはずなのに。
- 子供を保育園に通わせているが、親が休みの日と土曜日などできるだけ休ませてほしいという意図をすごく感じる。仕事をしているからこそ子供のいない休みにやりたいこともあるのを、もう少し理解してほしいし、それでも休みを進めるのであれば料金体系を別に作ってほしい。同じ保育料なのに休ませなければいけないのには、不満も不公平も感じる。
- 就学前の子供の医療費無料化。保育園の受入人数の増加。保育園の受入基準の見直し。育休中は上の子が保育園を退園しなくてはならないという現在の規則の見直し。
- 授乳できる施設を設けて欲しい。
- かけがえのない子供たちを守るため、児童館及び保育所などの耐震性診断を実施してもらいたい。
- 若者が結婚して、子供を産み育てる体制をつくる。弘前に子供の声が少なくなってしまう不安がある。老人ばかりではなく、若い人が頑張れる町になってほしい。老人がボランティアできるように工夫していただきたい。
- 保育所の給食調理に関わる人に、栄養士か調理師を1人置いた方が良いと思う。資格がなくても保育所の給食は作ることができますが、アレルギー持ちの子や離乳食は特に気を付けなければいけないし、専門的な知識が必要とされますので考えてみる必要があるのではないのでしょうか。
- 「こども達の笑顔あふれる」を実現するためには、まず周りの大人が笑顔でないといけない。こどもに対する医療等での支援のみでなく、親へのサポート（病児保育等）もさらに改善していくべきだと思う。

- 職場に託児所を設けるようにしてほしい。
- 私立の保育所が日曜日もオープンだとうれしい。日曜や夜、仕事に出る場合があり、1才と4才の子供を見てくれる安心がほしい。

〔放課後対策〕

- なかよし会について。希望者が多い場合、新1年生優先で3年生になると入所しにくくなっている。新1年生はまだ年齢的にも心配なのでわかりますが、先生の人数を増やす、場所の確保など考えてほしい。共働き家庭が増えているので困っているというのをよく聞く。
- 児童センターについて。現在の閉館時間の18時を、せめて18時30分にしていただけないものか。民間企業では18時に業務が終わる会社が多いと認識しており、同じくセンターを利用されている父兄からも同じ意見を多く耳にする。
- 夏（冬）休み期間のなかよし会、朝8時開始を望む。
- 児童館で新一年生が定員オーバーのため断られたと言う話を聞きました。新一年生が断られるのでは何のための児童館かわかりません。
- 女性が安心して働くことが出来る環境を地域の皆で考える。なかよし会の質を考え、学童保育のあり方をもっと重要に。子供達の育成は親の教育も必要ではあるが、忙しい親には限界があり、地域全体が子育てという意識を持つ事で中高生となった時の子供たちの成長に地域を愛する心が育つのではないかと思う。

〔健全育成〕

- 将来の市を担う中学生の乱れが気になる。まずは両親の教育が必要。親としての義務、責任を伝える方法を。学校の先生や地域の人では無理である。幼児からの育て方が、現状で良いのか再検討し、10年後、20年後の成人としての活躍を期待できるように。

- 青少年の健全育成や障害児者への支援についても、ソフト・ハード面での低下、物足りなさがある。優れたプログラム・実行力のある人材の養成が必要であるとする。
- 青少年育成事業に地域の大学生に積極的に参加していただき、若者のリーダーシップをとってもらおう。
- かつて弘前の子供会活動は他市に範を示す程だったのに、今日ではその活動は衰退の一途だとか。

約束 4-(2) 子育てするなら弘前で、を目指します【人づくり】

〔教育・学力〕

- 引きこもりなど学校へ行けない児童・生徒への援助。悩む親の相談にのる機関の充実が重要だと思う。
- 教員に伸び伸び仕事に取り組んで欲しい。現在は事務が多すぎる。
- 小中教員の増員。学校現場の教職員の繁忙さは他の公職では考えられない状況。学都弘前らしい「生徒と教師」、そして自らの研修に時間を生かせるように。
- 一番に大切なのは教育と感じているが、そこに重点が置かれていないと思う。教育の現場に市政がどこまで関われるのかわからないが。
- 教育費にもっと予算を取ってほしい。30人学級等はとても評価しているが、教育の内容が伴っていない感じがする。外国語活動等、これからの将来に役立つ教育を充実させるべき。ALTを1人増やしたからといって何も変わらない。もっと指導力のある人たちを現場に活用するシステムが必要と考える。

〔大学〕

- 長い目で見た場合、弘前は観光よりも学都として建設した方がよい。

- 若い人、特に大学生などに弘前の魅力を感じて弘前に住む、あるいは魅力を発信できるような施策にどんどん取り組んでほしい。
- 弘前は「学都弘前」と言われているが、大学を活用しているようには見えない。また、学生に対する扱いも十分とは言えない。大学の機能をもっと活用できるよう、連携を深める必要がある。学生は卒業とともに各地に散っていくので、弘前をPRする最も現実的なメディアとなっていく。弘前のよき理解者になってもらうよう、もっと学生を大切にし、そのための施策が必要と考える。
- 大学のために弘前に来たばかりで住みはじめて1年強ですが、市長の名前をこのアンケートを見て知りました。大学生の「若い力」を利用することを視野に入れ、ぜひ学生との結びつきを強くしてもらいたいと思う。市長自身が大学にいらっしやって頂けるときっと影響は大きいと思う。ぜひ大学内のイベントに参加してください。
- 留学生を活用した弘前市のPR。留学生が国に帰った後にも弘前市を宣伝してくれるよう、例えば弘前市でメールマガジンのようなものを帰国後に宣伝するなど。
- 公立の短期（2年制）専門学校の設立について、旧市内に設置してはどうか。東奥義塾、聖愛高校の郊外設置により市街地に賑わいが薄れ商業地域の衰退に追い込まれた経緯を踏まえ、市街地活性化のため考慮してはどうか。
- 弘前大学に工学部の設立を特に望む。
- 福祉サービスの質をもっと上げていくために、働きながらも大学などで勉強できるように、弘前市内で福祉の大学の通信制を取り入れて行って欲しい。
- イベントが毎年同じ事をくり返しマンネリな感じがします。大学の町なのでから若い人のアイデアを取り入れてください。

〔生涯学習〕

- 公共施設（プール、公民館など）は、ガラ空きの時が多い。もっと講座等増やしていつもにぎわいがあるようにしたらどうか。生涯教育をうたっているのであれば。

- これからの世の中老人が増えるばかり。市がパソコンを安く購入できるようにしたり、各地毎に利用方法の講習が必要では。
- これからの社会を担う子供たちにとって、学校での学問的教育は重要であると思うが、それにも増して人間教育は重要であると思われます。学校での学習期間は人生に於いて短い期間であり、社会に出て厳しい環境に適応しなければならないのがほとんどです。その人間教育の場は主として家庭で行なわれるべきと思うのですが、その中心となる母親の成人教育が必要と思われます。

〔文化振興〕

- 先日プラネタリウムを初めて見たが、おもしろくなかった。子供の授業に役立てばと思ったが、内容を見直して欲しい。100円の入場料を取っても子供が喜んで興味を持つ方がうれしい。
- 美術館を新しく造る事は難しいかもしれないが、博物館を充実させて欲しい。色々なものを子供たちに見せたいと思っていても弘前にはなく、東京や仙台まで行かなければならない。子供たちの視野・考え方を広げるためにお願いしたい。市民会館でコンサート等、有名人が来ることが少ないように思う。旬の人をたくさん呼んで欲しい。
- 博物館や市民会館の催し物、もっと芸術的なよいものを弘前に展示して学力・文化の向上をしてほしい。
- 博物館の展示の仕方に工夫が必要と思う。ものによっては文字による説明が詳しくて読みたくないものもある。子供にとっても理解できる説明が必要。特に古文書の該当文章を活字に直して現代文にするとか。詳しい説明はテーマごとにビデオにし、放映するとか。
- 図書館に子供のために絵本を選びに行ったりするが、小さい子供はつい走ったり、うるさくしてしまって困っている。黒石には「黒石ほるぷ子ども館」という施設がありとてもうらやましく思う。
- 今回の将棋名人戦はとてもいい企画だと思う。将棋をまったく知らない私でも行きたかった。

- 弘前の武道館は、スポーツだけのために作ったのなら、お金をかけすぎだと思う。もっとイベントに活用すべきではないか。武道館ができると聞いた時には、コンサートとかあるんだと（東京の武道館のように）思っていた。ジョッパルも早く活性化してほしい。
- 文化施設も資料を集めて作るとか、あるいは最近市として、文化施設紹介位置を示す掲示が行なわれているが良い事と思う。ただ一部に文化施設の位置の分かりづらい場所があり、修学旅行生に聞かれることがよくある。
- 市民文化祭について。各団体の組織が余りにも強固で入りたくても入れてもらえない。弘前市民であれば誰でも自由に参加できる新しい組織を作って欲しい。
- 弘前市民の歌を何曲か作り、みんなで歌えるようにする。県外客にも歌ってきかせたい。できれば歌いやすくなごむような曲で。「洋館とフランス料理の街ひろさき」にマッチしたシャンソン風の曲がいい。
- 文化的行事（音楽会・演劇・講演会等）の紹介がバラバラで分かりにくい。大きい行事だけでなく、市内にあるミニ音楽会とか、絵画その他の展示、ギャラリーなどの内容が分かりやすく、大勢にいつでも認識できる掲示、ポスターなど、見やすい場所にあるとうれしい。例、市役所・観光館・イトーヨーカドー等の大店舗。
- 陸羯南のことを弘前市の広報に少しずつ載せるなど、地域の活躍した人の業績を地元の人々に知ってもらい、一人一人に弘前を知ってもらおうスポークスマンになってもらう。地元の人が弘前を遊べるようにすることでその精神が他県の人々にも伝わるのでは。

〔スポーツ・レクリエーション〕

- 少子化に伴い、相撲等裸で行なうスポーツ人口の減少しており、小さい時からの英才教育、プロの選手を目指す子供を育てては。野球、相撲、ソフトボール、スキー等の指導者の育成。
- これからの高齢社会において車のない人はスポーツとか趣味で行ってみたいこともあります。場所的にもっと駅の近くにあったら良いなと思う。例えば、ジョッパル跡地とか。1日中でも見たりお茶会したり、気兼ねなく楽しめるような場がほしい。

- 河西体育館の施設をもっと使いやすくしたら、もっと利用度が上がるのではないかな。施設の利用者がいない時でもスムーズに使わせて。
- 広報で活動の募集があるが、趣味・スポーツなどの行事を午後6時以降のものを増やしてほしい。50歳以上ですが、ほとんど参加できるものがない。
- 秋、市運動公園にて実施しているスポーツ・レクリエーションのイベントをもう少しポイントを参加者にあげる際、考えたほうがよいと思う。1回にあげるポイントが多すぎるのではないかな。抽選券を何枚も持っている人がいるので不公平である。
- 祭りもいいが、もっとスポーツ、娯楽に力を入れてほしい。それと、プロ野球の試合などができる場所を作り子供たちに夢を与える事に葛西市長、力を入れてほしい。

〔国内外交流〕

- 2年前まで小中学生対象に群馬県太田市との交流事業があったのですが、再開はするのでしょうか。原発の関係もありいろいろ考慮すべきところがあると思うが、少しでも多くの子供たちにいろいろな経験、他県の子供たちとの交流などさせてあげたいと思う。

約束5 命と暮らしを守ります

〔社会福祉〕

- 障害者に対する就労支援のサービスと共に、一般の就労支援をもっと充実させて欲しい。障害者本人の居住する地域でサービスが提供されるべきあるという方向性で、具体的にグループホームの創設をもっと増やして欲しい。
- 市民のデパート・市役所内の「障害者専用の駐車スペース」に対して、改善してもらいたい。

- 病人や障害者をかかえる家庭へのサービスを充実させてほしい。個々の家庭で抱え込んでパンクしないように、保健士の訪問、相談機関の充実が望まれる。
- 身障者に対しての防災体制はどうなっているのか。急患、火災時の電話が出来ない人はどうすればよいのか。
- 聴覚障害のある方は補聴器等を使用している方が多いが、その機器に使用するボタン電池等の助成をしていただきたい。年間で使用すると3～5万円近くになる。
- 障害者が週一程度集まってリハビリやレクリエーション等で体を動かすきっかけを設けてほしい。
- 生活保護者が近所に多くいるが、実態がよくわかっていないのではないかと。ボランティアなどの労役を課すべきでは。我々より快適な暮らしをしているのではないかと。
- 医療関係で働いているが、生活保護を受けている人が多すぎる。審査が甘いのではないかと思う人が割合多い気がする。市民の税金なので、しっかりと仕事をしてほしい。
- 民生委員の活動について。学区毎に編成されているため、同じ町会でも分断されている。上記の理由で情報等一元化されず町会の行事などで混乱する事がしばしばある。
- 民生委員がプライバシーを傷つける事を言う。
- 一人住まい老人宅への配慮・把握が不足。
- 高齢者を甘やかしてはいけない。一例。温水プール等65歳以上無料は良くない。全額でなくせめて半額。75歳以上は無料とか。逆に病院に通う高齢者に対し、「100円(1回)パス」など発行したらどうか。
- 以前実施していた市の施設利用に際しての60歳以上無料化を復活してもらいたい。現在は65歳以上無料と聞いている。
- 高齢者施設と幼児施設の同一場所設置化。
- 高齢者が増えているので、町のコーナーに子供の遊具だけでなく木製のストレッチ

用具を置くなど、散歩や筋トレで足腰を鍛える。木陰で町の人とおしゃべりをする場を提供など整備する。独居老人の生活の質を高めることで弘前に暮らしたいと思うのでは。大きな店舗はあるが車のない老人には買い物や習い事に足がないので、もう少し交通の便を。

- 介護認定を申請してから市の確定が遅い。もっと早くしないと老人は待ってくれない。
- 100歳の方への賞状はともかく、盃等は一考を要する。
- 一人暮らしのお年寄りに対してもっと気を配って欲しい。近親者がいても介護のために職を失ったり、転職をしなければならなくなると、より一層生活が厳しくなる。役所の方は身内の世話は身内でしてほしいと言うが、仕事をしなければ生活が出来ない人に対してはかなりの負担である。
- 以前、私は東京に住んでいたころ、たぶん区で老人のために畑（トマトとかほうれん草とか）を提供していきまして、たまに老人たちが集まって畑仕事していました。弘前市でも空いている土地に老人のために提供することをお願いします。また、老人の一人暮らしの人には週1回家庭訪問することをお願いします。もしヘルパーにかけるお金がなかったらボランティアヘルパーでもよいのではないかと。
- 老後、余生を安心して暮らせる地域社会、特に弱い人々にはやさしい思いやりのある人材育成と施設の充実を図って欲しい。（老後は安心、弘前へ）
- デイサービス、介護施設の内容の向上と充実に努めてほしい。
- 老人ホームに入居したいのに高すぎる。低所得の人も入れるようになればいいと思う。
- あまりにも介護施設が多すぎて在宅介護しないようになってきていることがあり、残念に思う。人手があり財産のある家庭に多く見られる。
- 介護サービスの適切な利用を望みます。必要としている方が入所できず、必要ない方が入所しているケースがあります。（在宅で暮らせるような方が入所することにより、本当に入所を必要とする方が待たされています。）

- 弘前は住みにくい町だと思う。交通の便は悪いし、必要のない老人ホームがたくさんある。元気な老人、なんでも一人でできる人にヘルパーを使ったりしている。自立させるべきだと思う。

〔保健医療〕

- 母親が体調悪くなる機会が多く夜中病院へ行くと、医師がいなく、本当に医師不足を感じている。もう少しどうにかならないものか。
- 家で介護する時に緩和ケア等がしっかりとできるような体制が必要。往診をしてくれる病院が少ないと思う。
- 夜中に救急で小児科以外の科の診察が弘前でなく、浪岡まで行かないと診てもらえない事があった。夜中で救急車呼ぶほどではないにしろ、急いで診察してほしいから夜間救急なのではないか。
- 医療について、全く体制が後退している。市医師会等との連携を強化して体制作りを望む。
- 医療費も他県では資格証を窓口で見せるだけで無料になり、市役所に用紙を書いて提出しなくても良かったが、紙のムダではないか。
- 人口が多い分、小回りが利かないところに不便さ、もどかしさを感じる。例えば、インフルエンザの予防接種等。近隣地域は一般の町民にも補助があったとのこと。
- 市立病院に骨折で入院した友人、リハビリは土日祝は休みになるとのこと。リハビリって継続が大事。2、3日休むと調子悪いつて言っていた。
- 市立病院の経営は赤字だと聞いています。弘前市には大学病院、国立病院、健生病院などがあり、それぞれいい病院だと思う。市立病院の体質は良くないので廃止した方がいいと思う。私は二度診断拒否されています。夜間診療の当番でありながら。

約束6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を

図ります

〔広域行政〕

- 新幹線を利用した弘前を中心とした津軽広域の観光に力点を入れる。
- 近隣市町村の連携及び合併を考えると、市役所は移転した方が良い。弘前公園の近くにあるのは意味がない。
- 流通について港を持たない弘前では物流が悪いので鱒ヶ沢をも含めた合併も考慮したら。岩木山にトンネルを掘り、鱒ヶ沢へ除雪しなくても良い道路を確保する。
- 弘前市内及び周辺市町村も含めた広域の交通政策を充実させてほしい。自動車を運転しない中高生やお年寄りの足の確保と、CO2削減で車に頼りたくない人のために既存バス路線の確保と便数の増加。弘南鉄道、JR奥羽本線の運転本数を今の1.5倍程度に増やす。弘南線運動公園駅のアルカディア側から運動公園への自転車も安全に通過できる通路の確保。JR奥羽本線弘前～石川間に大清水のあたりに新駅を設置し、弘前以南の運転本数を増やす。

〔合併効果〕

- せっかく旧岩木町と相馬村が合併したのに、その良さを活かさきれていない。例えば、農産物を利用して全国に名が知れる特産品を開発する。温泉宿と交通機関などと提携し、安く魅力のある旅行を提供する。とにかく、青森に人を呼び込むための施策に工夫がほしい。

約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます

〔行政運営〕

- 職員の数が多すぎるように見えて仕方がない。各自仕事を担当されていることとは思うが、民間は事業存続のために最低限必要な人材で対応しているはずである。業務の見直しを図り適正な人員の確保が急務ではと史料する。
- 事務職員の仕事はコンピュータ化したにもかかわらず効率化していない。1割程度は減らすべきである。机の目の前のコンピュータを常に見て何かを行なっている姿しか見ていない。
- 職員の数が多。親切じゃない。奥に居る人はダルそうに仕事をしている。税金で給料をもらっていると思っているなら、もう少し活気のある職場にした方がいいと思う。上から目線で話しをするので聞きづらい。
- 市役所全体に言える事だが、職員の研修を多くするようにして、もう少し仕事に対する取り組みを良くやってもらいたい。仕事中心インターネットをやりまくっている職員が多い。皆市民に見られている。半分くらい辞めさせても良いと思う。
- 市の職員が危機感を持って働いているように見えない。必ずといっていいほど、雑談に花を咲かせマイペースで動いているようにしか見えない。出先機関の方は特にひどい。抜き打ちで視察して現状を把握していただきたい。一般企業では考えられない。人数を減らす等の工夫をしていただきたい。
- 庶民との感覚のズレを直すこと。一般の会社等は業績が悪いと給料が下がるのが普通。公務員の場合、売り上げは税収だから下がったらそれなりに見直して、それが市民にもわかるようにすべきと思う。リスク感覚が低い。会社で言う経営意識が低い。失敗してもつぶれないからか。
- 公務員とは一般市民へのサービスがメインであり自分たちの立場を周知徹底してもらいたい。今の状態では、予算圧迫の元凶ではないか。
- 弘前市役所職員給料が旧相馬村、旧岩木町役場職員より高いとうわさで知った。不親切な人間たちが多いのに不愉快である。この不景気の今、全職員の給料を旧相馬、旧岩木のレベルに下げしてほしい。
- 市役所職員がタメ口で対応するのも不満あり。こちらが敬語で話しているのに、なぜ敬語で対応できないのか。お金はどこよりもとるのに、それに見合った支援がまったくくない。

- 客と対応する時だけでいいから標準語で話してほしい。公務員くらい市民全員にわかるように話してほしい。前に住んでいたところでは、所得証明は発行するのに無料だったので手数料かけないでほしい。
- 子供から年配の方まで、誰でも理解できるような内容と言葉の説明で色々やるならやってほしい。難しい言葉だと良い事をやっても伝わらない。市役所の人達の態度もいつになったらサービス業と同等の対応になるのか。市民のためとは思にくい。
- 職員の態度が悪い所が多い。もっと他の課のことも軽くでも知り、責任感のある人達になってほしい。責任逃れの人達が多く、他の県にも行く機会があり恥ずかしくて自慢できない。観光PRが下手。自分で夢を持ち続けていただきたい。ひろさきを自慢できるようにしてほしい。
- 仕事のため、市役所にはよく訪問するが事務的で温かみがなく、雰囲気は全体的に悪くなっているように思う。
- 市役所に手続をしに行く時、総合受付や直接対応する職員の対応は良くなったが、後ろの方で接客していない職員がどのように仕事しているのかも見えている。
- 市職員は随分優しくなったものだ。ずっと以前の市職員は結構態度が悪くて、市民対市職員ような感じで市役所に行けばストレスが溜まったものだ。今は違う。いい顔して仕事している。
- ごみ収集に当たっている職員はいつも真面目にテキパキと行動している。見ていて気持ち良い。
- 市役所職員の接客態度は10年以上前に比べたら格段によくなったと思う。
- 市役所、市立病院等でよく目にするが、職員の仕事に対しての取り組み方とか意識がとても低いように感じられる。時間から時間で、それ以上の事は別に努力してやる必要もない、そんな風に見える。「苦楽を共に」という言葉があるが、楽しかしていないように私には写る。とにかく人も多いように見える。合理的、無駄のないようお願いしたい。
- 市役所職員の質の向上を最も行なうべき。効率の悪さ、向上心の無さ、慣例の打破、

部署間の連携等、民間に学ぶべき事が多数あると思う。主権は市民に有る。市役所は市民の意思をサポートするのが役目と思う。まだまだ不足である。発想の転換を望む。

- 課長補佐、班長クラスに対する職業倫理教育を強化すべきである。実務経験のない大学教授は不要である。
- 多くの市民が満足して市民生活を送れるような行政をしてほしい。そのためには何としても良い部下、良い職員を養成するべきである。愛想の良さ、事務能力の高さで終わってしまってはいけない。
- 市の係長以上の職員がリスクマネジメントを勉強し、事故、不祥事を事前に防ぐ事が、今市役所に求められていることではないか。災害の準備を全くしていなかったことを、東日本大震災で初めて知った。外見のよい行事を行なうことよりも、「弘前市の足元」をしっかりとすることが最優先だと思う。
- 組織の連携。担当者でなければ作業が前に進まないケースが多い。たまたま休暇をとった場合、同じ課の職員がその担当者の仕事を処理できない。個人プレーでは限界がある。
- お昼に市役所に行くとみんな弁当を食べていてすぐは出てこない。仕事を抜けて来ている人も多いと思うので全員が同じ時間の休憩ではなくてもいいと思う。
- パート・アルバイトの時間を短縮し、節税に取り組んでほしい。市職員の一人一人の意識を高め、自信を持ってサービスしてほしい。お昼は一斉に休みを取らず、時間をずらしてとってほしい。
- 市の臨時職員の意識、身だしなみなどの改善。先日、デニムのシャツ、ショートパンツ、金に近い茶髪、ポケットに携帯でデスクの椅子に座っていた。
- 市役所は、職員の方も私服なので一般の人と見分けがつかない。統一して夏は桜色などきれいな色のポロシャツにするとか。笑顔と挨拶で日本一明るい市役所になっていただきたい。
- 市役所に行ってまず思ったこと（驚いたこと）。地震のごく少ないところですが、役所内の戸棚（書類棚、ロッカー等）の上に物がたくさんおいてあること。もしも大きな地震が起きたら落下して非常に危険です。

- 市職員・市会議員の出張費見直し。理由は、意義のある出張・使い方をしてほしいので。何かを行う際予算が組まれますが、もしその予算内で収まった場合、残金は正直に計上する。
- No.28の職員のパワーについては部署の差がある。残業の多いセクションと少ない部署のバランスがあり過ぎる。健康面に問題がある。
- 本庁各部署の職務分担を詳しく市民に知らせるべきである。※できれば高齢者宅等へ出張して困ったことをサービスするような機関がほしい。
- 市役所の職員が町会に入会しないのは全職員が町会には入会しないことを決めているからか。前から不自然に感じている。
- 合併後の職員の気持ち、立場を考慮した組織であってほしい。農業、インフラ整備等、相手の立場で行政に携わる職員が多くなることを願う。
- 市職員、臨時・パート採用について、透明性のあるよう広く募集がかかるようにするべき。
- 天下りはやめよう。
- 弘前市の企業に従事する社員の平均賃金一時金、退職金、年金等と市職員との対比を広報等で市民に知らせることで市政に対する知識が得られると思う。数年前、天下りの件を聞いた事がありましたが、調査されていますか、現在はゼロですか。
- 公的な立場の皆様には危機感が薄いのか、時折仕事に情熱を持っているのかと問いかけたくなる時もある。葛西市長には、若さをもって職員に激を飛ばしてもらいたいと願っている。
- 各部署でコンピューターを独自でやっているが、統一性がない。市で統一してオンラインシステムを構築するべきである。
- 市役所の出張所はよく利用させてもらい、大変便利さを感じているが、出張所で利用できるのは極わずかであり、やはり本庁へ出向かなければならないのがほとんどである。勤め人だと利用できる平日に市役所に行くには休暇等を取らなければならない。

利用時間も17時までと短縮になり、さらに不便さを感じている。市民が利用しやすい環境をつくることこそ、公共機関の役目だと思う。そのためにも利用時間の18時まで延長、土日祝いずれかを開庁する等していくことが必要だと思う。

- 旧弘前市の出張所は本当に必要な地域以外は廃止すべき。
- 週1でよいので利用時間を8時までなど試験的にやってみてはどうか。
- 市役所の利用時間について。日曜もやる日を月に1回でもつくってほしい。
- 市役所は年中無休にするべき。
- さくらまつり期間中に市役所に行こうとすると公園の周りが大変混んでいて市役所に着くまでに時間がかかる。この改善としてさくらまつり期間中の市役所の営業時間を2～3時間延長してはどうかと思う。
- 窓口の対応は充分良くなっていると感じた。しかし、夏場に市役所に行くと、具合が悪くなるくらい暑い。クーラー等を付けて、市民が気持ちよく書類などを貰えるようにしてほしい。
- 市民課が多忙な事は分かるが待ち時間を少し短くしてほしい。
- 相談窓口などがありそこへ行くと手続の方法とか分かるようにしてもらえると嬉しいと思う。足の不自由な方には、担当がそこまで全ての書類を持ってきてくれるとかすれば助かると思う。
- 小さい子どもがいる親が行くような課にポロいぬいぐるみしかない。子ども連れが行くような課では、待ち時間や話を聞く間子どもが飽きてしまうので、ぬいぐるみ以外の、せめて絵本など置いてほしい。絵本は図書館から借りるなどできないのか。同じ市関係なのに。
- 冬期間中の使用できる施設が少なく、貸出しに手間暇がかかりすぎるのもっと簡略に気軽に利用できるようにしてほしい。市民会館の駐車場を増やしてほしい。隣接する空き地を駐車場にできないのか。
- 市役所など関連施設において、駐車場に市職員が自家用車を駐車しているのではな

いか。常に満車状態で駐車できない事も有り、民間では有り得ない状態である。

※ 市職員に関する不満の意見等は、全部で114件ありました。

その他

〔税金等の負担〕

- 市民税、水道料が高い。旧岩木町の住民は無料で健康診断（弘前市のものより詳しい検査）があり不公平だ。
- 水道、光熱費などインフラの料金をもう少し下げて欲しい。
- 税金（消費税除く）を1種類にさせていただく。土地など財産に対しては別だが、保険・年金は一緒にして集める。
- 国民保険料が高いと思う。年金生活時とても不安だ。
- 健康保険が値上がりしたのを知らなかった。もう少し分かりやすく説明して欲しかった。
- 税金が高すぎて暮らしが大変だ。岩木地区には活気がないのでとりあえずフリーマーケットでもやってほしい。
- 10年間国保代を放置しておいて、困ったから負担をしてくださいというのであれば、そんな事は誰でも出来る事で全く考えがない。本年4月28日付けの陸奥新聞では、3賦課限度額引き上げ、国保運営協、弘前市諮問通り答申へ。このように負担増を決められそれが国の方針に沿ったものであればなおさら考えのない言いなりの市政ではないかと思う。
- 税金他、納金をコンビニからも出来るようにお願いしたい。

〔被災地支援〕

- 震災後の市政と市民と連携し、被災者の方々を桜祭りに招待したりする活動はこれからも続けてほしいです。
- 被災者の方をさくらまつりに招待した事については市民として誇れる出来事でした。
- さくらまつりの入場料の一部を被災地への義援金へ。というのはとても良かったと思う。例年は祭り期間は有料区域には入らないが今年は家族と何度も入った。
- できるだけ災害地の皆さんへ今まで以上助けてあげてください。私たちもいつお世話になるかも知れません。お金が足りなかったらまた町会を通して集めてもかまいません。協力いたします。
- 私はいわき市で出張中に地震に遭いました。その後弘前に帰ってきて、市長を始め、職員の皆さんが被災地にしてくれた事に、心から感謝致します。また、市長もその任に当たって1年です。これからも頑張って、あたたかい手を伸べてください。ありがとうございました。

〔議会〕

- これから市の財政が厳しくなる事に心配しています。そこで、数人の市議が公約にしていた市会議員の報酬の削減、定数の削減を実行していただきたい。
- 定例議会の様子を知りたい。例えば、広報等という手段ではなく、新聞社での取材であったり、テレビでの収録等により、その一部の模様をたまにでも知ることができれば、もっと市政を身近に感じ、理解も深まるようになるのではないか。
- 市議会を国会生中継のように中継する。一般テレビ局で不可なところは不可能かもしれないので市役所ホームページ上で動画で生中継する。
- 市議会議員は毎日どのような活動をしているのか全くわからないし、人数、一人当たりの給与が妥当なのかわかりません。議員一人当たりのコストパフォーマンスを評価、公表するようなシステムを構築することを期待します。もちろん、市の職員について

もです。市長については選挙で選択できますから。

- 市議会が何をし、何を決めているのか全く見えてこない。選挙の時だけは何か叫んでいるようだが、中身が無い。議員数を減らして中身を充実させるべきだと考える。無駄を削ること。
- 議会基本条例を作ること。定数削減を進めるか歳費を半分または日額にする。年150日くらいの活動で歳費が高過ぎる。各地議員選挙投票率は毎回下回っている。住民全体を代表する議会ではなく、一部利益を過剰に代表する機関になっていると思う。もちろん有権者にもある白紙委任で担って来た責任あると思う。

※ 議員の定数・報酬などに関する意見等は、全部で47件ありました。

〔その他〕

- 各地区にある施設が活用されているか見直し、また、計画されているものでも将来の見通しを明確にして税金の無駄遣いにならないよう、市民の負担をできるだけ少なくなるようにしてほしい。
- 元一大小学校の校舎の活用。(元一大小学校の校舎を使用したい人を募集して、その人達で活用方法を検討してみてもどうか。)
- 青森県(弘前市)は公共事業が農業などしか仕事がないので、できるだけ仕事を増やしてほしい。削減ばかりでなく、公共事業に関わっているのが多いので、市発注の工事でも単価が安く下請の業者は大変です。元請も大変ですが下請も大変です。単価の見直し等。生活が出来ない状況です。早期の改善をしてほしいと思う。
- 男女共同等については、憲法で保障されているもので、男女の地位平等等に関してはその組織の内部規定等で左右される問題であると思う。また、職員の家庭内の状況等によっても差異が生じることもあると思う。(男は出産できないから)
- さくらまつりのポスターなどを入札された業者に依頼するのではなく、写真などは一般公募の参加型にしてほしい。